BBIQ光電話無線ルータ

形名 XS-5A-01

取扱説明書

ご使用の前に、この「取扱説明書」をよくお読みになり、 正しく安全にお使いください。 「取扱説明書」は大切に保存してください。



本製品の側面に貼付された装置情報ラベルの内容をこちらにお控えください。

記載項目	装置情報ラベル内容
PIN コード	
SSID-1 (2.4G)	BBIQRT-
暗号化キー 1	
SSID-2 (2.4G)	BBIQRT-
暗号化キー2	
SSID-3 (5G)	BBIQRT-
暗号化キー3	

もくじ

もくじ
安全のために必ずお守りください
ご利用時のお願い
はじめに
本製品の特徴
BBIQ光電話無線ルータ機能一覧
準備······20
セットを確認する
各部の名前
設置
本製品を設置する
スタンドを付けて、縦置きにする
スタンドを用いて、壁掛けにする
接続
機器の接続
BBIQ光電話 ····································
電話をかける(発信)30
電話を受ける (着信)30
音の一覧
設定(BBIQ光電話無線ルータ設定画面)32
BBIQ光電話無線ルータ設定画面について32
BBIQ光電話無線ルータ設定画面での設定に対応したブラウザ 33
本章でご案内している操作・設定方法について33
BBIQ光電話無線ルータ設定画面を開く33
BBIQ光電話無線ルータ設定画面を使う35
BBIQ光電話無線ルータ設定画面を使う
契約内容を確認する
バソコンを設定する
設定(BBIQ光電話無線ルータ本体) ····································
本体設定のご案内69

機器設定用パスワードを変更する69
再起動する
初期化する
設定を保存・復元する
インターネット83
パソコンを有線接続する場合83
パソコンを無線接続する場合83
自動で無線接続する(WPS)83
手動で無線接続する
故障かな?と思ったら
仕様
ハードウェア仕様
BBIQ光電話無線ルータが対応している無線規格と速度について… 118
使用許諾条件120
索引

安全のために必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくこと を説明しています。



■"図記号"の意味は次のとおりです。





⚠警告

通風孔をふさがない

- ●内部に熱がこもり、火災の原因となる ことがあります。
- ●以下のような設置はしないでください。
 - ・横向きに寝かせる
 - ・ 収納棚や本棚などの風通しの悪い 狭い場所



交流100Vで使用する

●誤った電源を使用すると火災・感電の 原因になります。



電源プラグは、刃の根元まで確実 に差し込む

感電や火災の原因になります。
 ゆるんだコンセントは使用しないでください。





ぐらついたり変形した台の上や傾いた場 所などに設置すると、落ちたり倒れたり して、ケガの原因になります。



的してくたさい。 落下してケガの原因となることがあり ます。

7





本体の上に乗らない 本体が壊れて、ケガの原因になること があります。 本体の上に重いものを置かない ●本体が故障して接続機器が誤動作し、 事故の原因となることがあります。

使用中は本体を長時間触らない ●使用中は発熱しますので、低温やけど の原因となることがあります。

電源アダプターはコンセントに



電源アダプターを抜き差しする場合 は、電源アダプターを抜いてから 10 秒以上あけてから差し込む ●本体が故障して接続機器が誤動作し、 事故の原因となることがあります。 機器を追加するときは本書に従い 接続する ●間違えると接続機器や回線設備が故障 して、誤動作による事故の原因となる

ことがあります。

ことがあります。

電源アダプターは定期的に清掃する

ほこりが付着すると火災の原因となる

●雷源アダプターとコンヤントの間に

8

確実に差し込む

ご利用時のお願い

この表示を無視して、誤った取扱いをすると、本製品の本来の性能を発揮できなかった り、機能停止を招きます。

● 次のような場所での保管や使用はしないでください。

- ・直射日光が当たる場所
- ・風通しや換気が悪い場所
- ・雨などが直接入り込む場所
- ・動作環境(温度0~40℃、湿度10~90%※結露しない)外の温湿度になるところ
- ・ほこりや振動が多い場所
- ・気化した薬品が充満した場所や、薬品に触れる場所
- ・ラジオやテレビなどのすぐそばや、強い磁界を発生する装置が近くにある場所
- ・特定無線局や移動通信体のある屋内
- ・盗聴防止装置など 2.4GHz 周波数帯域を利用している装置のある屋内
- ・高周波雑音を発生する高周波ミシン、電気溶接機などが近くにある場所
- 縦置きする場合はスタンドを取り付けて設置してください。また、壁掛け設置をする場合は、付属の壁掛け設置用ネジを使用して設置してください。転倒、落下によりケガ・故障の原因となることがあります。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びている場所や電磁波が発生している場所に 置かないでください。(電子レンジ、スピーカ、テレビ、ラジオ、蛍光灯、電気こた つ、インバータエアコン、電磁調理器など)
 - ・磁気や電気雑音の影響を受けると通信が不安定になることがあります。(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります。)
 - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
 - ・放送局や無線局などが近く、通信が不安定なときは、本製品の設置場所を移動してみてください。
- ●本製品をコードレス電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合があります。
- ●本製品とコードレス電話機や電子レンジなどの電波を放射する装置との距離が近す ぎると通信速度が低下したり、データ通信が切れる場合があります。また、コード レス電話機の通話にノイズが入ったり、発信・着信が正しく動作しない場合がありま す。このような場合は、お互いを数メートル以上離してお使いください。
- 無線LANアクセスポイントと無線LAN端末の距離が近すぎるとデータ通信でエ ラーが発生する場合があります。この場合は、本製品を無線LAN端末から距離を離 し(1m程度)エラーの解除をご確認ください。
- ●本製品の隙間から虫が入ると、故障の原因となることがあります。
 ・台所などに設置するときは、虫が入らないようにご注意ください。
- 動作中にケーブル類が外れたり、接続が不安定になると誤動作の原因となり、大切 なデータを失うことがあります。動作中は、コネクタの接続部には絶対に触れない でください。

- 落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 異常時、お手入れ時以外は電源を切らないでください。
- ●本製品のお手入れをする際は、安全のため必ず電源アダプター(電源プラグ)を電源コンセントから抜いて行ってください。
- ●お手入れ時は不安定な踏み台等は使用しないでください。落下してケガの原因になります。
- ●お手入れ時は乾いた柔らかい布で汚れをふき取ってください。汚れのひどいときは、 中性洗剤を含ませた布でふいた後、乾いた布でふき取ってください。化学ぞうきん の使用は避けてください。ただし、コネクタ部分はよく絞った状態でもぬれた布では、 絶対にふかないでください。ベンジン、シンナーなどの有機溶剤、アルコールは絶 対に使用しないでください。変形や変色の原因となることがあります。
- ●本製品に殺虫剤などの揮発性の物をかけたりしないでください。また、ゴムやビニール、粘着テープなどを長時間接触させないでください。変形や変色の原因となることがあります。
- お客様または第三者の誤使用、使用中に生じた故障、その他の不具合または本製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

「ご使用にあたって

本製品は、クラスB 情報技術装置です。本製品は、家庭環境で使用することを目的 としていますが、本製品がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、 受信障害を引き起こすことがあります。 本書に従って正しい取り扱いをして下さい。 VCCI-B

●ご使用の際は取扱説明書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

- ●本製品の仕様は国内向けとなっておりますので、海外ではご利用できません。 This equipment is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- ●本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電などの外部要因によって、通信などの機会を逸したために生じた損害や万一本製品に登録された情報内容が消失してしまうことなどの純粋経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- ●本書に、他社商品の記載がある場合、これは参考を目的としたものであり、記載 商品の使用を強制するものではありません。
- ●この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容について将来予 告なしに変更することがあります。
- ●停電時には本製品は使用できません。電源が復旧した後は、動作を確実にするため、 一度電源アダプター(電源プラグ)を電源コンセントから抜いた後、10秒以上たっ てからもう一度差し込んでください。
- ●本製品に搭載されているソフトウェアの解析(逆コンパイル、逆アセンブル、リバー スエンジニアリングなど)、コピー、転売、改造を行うことを禁止します。

本製品の使用周波数帯について

本製品は、技術基準適合証明等を受けています。

本製品は、IEEE802.11ac、IEEE802.11n (5GHz)、IEEE802.11a 通信利用時は 5GHz 帯域の電波を使用しています。

5.2GHz 帯および 5.3GHz 帯の電波の屋外での使用は電波法により禁じられています。

5GHz の W53、W56 の周波数帯は、5GHz 帯気象レーダーなどのレーダー、5.8GHz 帯画像伝送およびアマチュア無線などに利用されています。52,56,60,64ch (W53) または 100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch (W56)を選択した場合は、法令により次のような制限事項があります。

・通信開始前に1分間のレーダー波検出を行いますので、その間は通信を行えません。
 通信中にレーダー波を検出した場合は、自動的にチャネルを変更しますので通信が中断されることがあります。

本製品は2.4GHz帯域の電波を使用しており、この周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療機器のほか、他の同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を 要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局な ど(以下「他の無線局」と略す)が運用されています。

- ・本製品をお使いになる前に、周囲で「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
- •万一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合は、速やかに以下のい ずれかの対応を行ってください。
 - 本製品の使用チャネルを変更する
 - 本製品の使用場所を変える
 - 本製品の運用を停止(電波の発射を停止)する
- ・無線 LAN 設定 2.4GHzの「デュアルチャネル」、無線 LAN 設定 5GHzの「チャネル 帯域」の「40MHz」と「80MHz」を使用しない設定に変更することで改善する場合 があります。
- ・無線 LAN 設定 2.4GHzの「デュアルチャネル」の「使用する」「優先」の設定と、無線 LAN 設定 5GHzの「チャネル帯域」の「40MHz」「80MHz」の設定は、複数のチャネルを束ねて使用します。そのため、同一周波数帯を使用する他の無線局、機器との電波干渉が起こりやすくなります。
- ・無線 LAN 設定 2.4GHzの「デュアルチャネル」を「使用する」「優先」、無線 LAN 設定 5GHz の「チャネル帯域」を「40MHz」「80MHz」に設定する場合は、周囲の電波 状況を確認し、他の無線局に電波干渉を及ぼしていないことを事前に確認してください。
- ・他の無線局で電波干渉が発生した場合は、速やかに無線 LAN 設定 2.4GHz の「デュア ルチャネル」を「使用しない」、無線 LAN 設定 5GHz の「チャネル帯域」を「20MHz」 に設定を変更してください。

本製品が使用する周波数帯は、本製品背面に貼られているラベルに記載されています。 ラベルの見方は以下のとおりです。

・5GHz 帯の場合

W52 W53 W56

以下のチャネルが使用できることを示します。

周波数	使用可能チャネル
W52	36,40,44,48ch
W53	52,56,60,64ch
W56	100,104,108,112,116,120,124,128,132,136,140ch

J52(34,38,42,46ch)はサポートしていません。 5GHz 帯を使用する場合は、上記チャネルを利用できる無線 LAN 装置とだけ通信が可 能です。

・2.4GHz 帯の場合



表示内容	説明			
2.4	2.4GHz帯を使用する無線設備であることを示します。			
DS/OF	変調方式が、DS-SS方式/ OFDM方式を使用していることを示し ます。			
4	想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。			
	全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避可能であること を示します。			

無線 LAN 製品ご使用時におけるセキュリティに関するご注意

無線LANでは、LANケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコンなどと無 線LANアクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自 由にLAN接続が可能であるという利点があります。

その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁など)を越えてすべての場所に届くた め、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能 性があります。

● 通信内容を盗み見られる

悪意ある第三者が、電波を故意に傍受し、IDやパスワードまたはクレジットカード 番号などの個人情報、メールの内容などの通信内容を盗み見られる可能性がありま す。

● 不正に侵入される

悪意ある第三者が、無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や 機密情報を取り出す(情報漏洩)、特定の人物になりすまして通信し、不正な情報を 流す(なりすまし)、傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)、コンピュー タウィルス等を流しデータやシステムを破壊する(破壊)などの行為をされてしま う可能性があります。

本来、無線LANカードや無線LAN アクセスポイントは、これらの問題に対応するため のセキュリティの仕組みを持っていますので、無線LAN製品のセキュリティに関する 設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。 無線LAN機器は、工場出荷状態においては、セキュリティに関する設定が行われてい ない場合があります。

したがって、お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LANカードや無線LANアクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線LAN機器のセ キュリティに関するすべての設定をマニュアルにしたがって行ってください。

なお、無線LANの仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり えますので、ご理解の上、ご使用ください。

当社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を十分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお勧めします。

セキュリティ対策を行わず、あるいは、無線LANの仕様上やむをえない事情によりセ キュリティの問題が発生してしまった場合、当社はこれによって生じた損害に対する責 任は一切負いかねますのであらかじめご了承ください。

対象読者と前提知識

本書は、本製品を導入して、設置および設定を行う方を対象としています。本書を利用するにあたって、以下の知識が必要です。

- ・使用する環境のオペレーティングシステムの基本的な知識、および操作方法
- ・ネットワークに関する基本的な知識

本書で使用しているマーク

本書で使用しているマークは、以下のような内容を表しています。

- **おしらせ** 注意していただきたいことや、してはいけないことを記載しています。 必ずお読みください。
- (補足)
- 本製品に関する補足情報を説明しています。 必要に応じてお読みください。
- 参照 操作方法など関連事項を説明している箇所を記載しています。

登録商標一覧

本書の著作権は弊社に帰属します。本書の一部または全部を弊社に無断で転載、複製、改変などを行うことは禁じられています。

- ・Wi-Fi は、Wi-Fi Alliance の登録商標です。
- Microsoft および Windows、Microsoft Internet Explorer は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Windows[®]は、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商 標です。
- Windows の正式名称は、Microsoft Windows Operating System です。
- Windows[®] 8.1 は、Windows[®] 8.1、Windows[®] 8.1 Pro および Windows[®] 8.1 Enterprise の各日本語版かつ 32 ビット (x86) 版および 64 ビット (x64) 版の略とし て使用しています。
- Windows[®] 8 は、Windows[®] 8、Windows[®] 8 Pro および Windows[®] 8 Enterprise の各日本語版かつ 32 ビット (x86) 版および 64 ビット (x64) 版の略として使用して います。
- Windows[®] 7 は、Windows[®] 7 Starterの日本語版かつ 32 ビット (x86) 版、
 Windows[®] 7 Home Premium、Windows[®] 7 Professional、Windows[®] 7
 Enterprise および Windows[®] 7 Ultimateの各日本語版かつ 32 ビット (x86) 版および 64 ビット (x64) 版の略として使用しています。
- Apple および Mac、Mac OS、Safari は Apple Inc. の米国およびその他の国における 登録商標または商標です。
- Oracle と Java は、Oracle Corporation 及びその子会社、関連会社の 米国及びその 他の国における登録商標です。
- この製品には、Apache Software Foundation (http://www.apache.org/) によっ て開発されたソフトウェアが含まれています。
- Copyright[©] 2015 Mitsubishi Electric Corp.

その他本書に記載する会社名、システム名、製品名、および商標は、各社の登録商標です。 なお、本文中には TM および[®] マークは明記していません。

RSA Data Security, Inc. MD5 Message-Digest Algorithm

Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。

輸出管理規制について

本製品は、海外為替および外国貿易管理法が定める規制貨物に該当いたします。 本製品は、国内でのご利用を前提としたものでありますので、日本国外へ持ち出す場合は、 同法に基づく輸出許可など必要な手続きをお取りください。

NOTICE

This product which is intended for use in Japan, is a controlled product regulated under the Japanese Foreign Exchange and Foreign Trade Control Law. When you plan to export or take this product out of Japan, please obtain a permission, as required by the Law and related regulations, from the Japanese Government.

はじめに

このたびは、BBIQ光電話無線ルータをお申し込みいただき誠にありがとうございます。 本書には、本製品の設置・配線の仕方から、さまざまな機能の設定方法、困ったときの Q&Aまで詳しく説明していますので、大切に保管してください。

本製品の特徴

本製品の特徴的な機能について説明します。

つなぐだけネットスタート

本製品を BBIQ 回線に接続して電源を入れるだけで、自動的にインターネットへの接続を 行う機能です。そのため本製品ではインターネットご利用時に必要な接続アカウント(ロ グイン ID、ログインパスワード)の設定は不要です。

● Wi-Fi 诵信

- ・本製品では、5GHz 通信(IEEE802.11ac、IEEE802.11n、IEEE802.11a)と 2.4GHz 通信(IEEE802.11n、IEEE802.11g、IEEE802.11b)を同時に利用でき ます。
- デュアルチャネル機能 無線 LAN 通信で利用する通信チャネルの幅を、20MHz 幅から 40MHz 幅に拡大する ことにより、約2倍の通信速度を実現するデュアルチャネル通信機能を搭載しています。 当機能は、無線 LAN 設定 2.4GHz の「デュアルチャネル」を「使用する」「優先」、無 線LAN 設定 5GHz の「チャネル帯域」を「40MHz」に設定すると利用できます。
- クワッドチャネル機能 無線 LAN 通信で利用する通信チャネルの幅を、20MHz から 80MHz に拡大すること により、約4倍の通信速度を実現するクワッドチャネル通信機能を搭載しています。 当機能は、無線 LAN 設定 5GHz の「チャネル帯域」を「80MHz」に設定すると利用 できます。
 - 補足 通信速度の規格値については「BBIQ 光電話無線ルータが対応している無線 規格と速度について」(118ページ)をご覧ください。
- オートチャネルセレクトモード 周囲にあるほかの無線 LAN 機器のチャネルの利用状況をチェックし、電波状態の良い チャネルを自動で設定します。そのため電波干渉の影響が少なく混雑していないチャネ ルを使用することができます。
- WPS

WPS に対応した機器であれば、Wi-Fiの接続とセキュリティの設定をかんたんに行えま す。

各機能の詳細な設定方法については、BBIQ 光電話無線ルータ設定画面のへ 補足) ルプをご覧ください。





BBIQ 光電話無線ルータ機能一覧

本製品には複数の機能が備わっていますが、ご契約内容によって、ご利用いただける機能 が異なります。

ご契約いただいている機能は、本製品前面のランプで確認できます。

● 無線ルータ機能

本製品の無線 LAN 接続機能を有効にする機能です。

● BBIQ 光電話アダプタ機能

BBIQ 光電話をご利用いただくためのアダプタとして、本製品を利用するための機能です。

必要なご契約	ご契約時のランプの状態				
無線ルータ機能契約	「④無線2.4G」および「⑤無線5G」のランプが「点灯」・「点滅」している ※ 消灯時は未契約				
BBIQ光電話契約	「⑥電話1」、「⑦電話2」のランプが「点灯」・「点滅」している ※ 消灯時は未契約				



準備

セットを確認する

■本体



XS-5A-01(1台)



スタンド(1台)

(1個)

■付属品



電源アダプター(1式) (ACケーブル/1本、ACアダプター/1個)



LANケーブル (1本/約2m)



(本書1部)

● 形状がイラストと異なる場合があります。

壁掛け設置用ネジ

(2本/16mm)

電話ケーブル

(2本/2m)

各部の名前

本製品各部の名前および機能を説明します。

■ 前面



● ランプ表示

名称	表示(色)		状態
①電源ランプ	緑	点灯	電源が入っています。
	-	消灯	電源が入っていません。
②アラームランプ	緑	点灯	サーバと接続中です。
	緑	3回点滅	初期化が開始されました。
	橙	点灯	新しいファームウェアがリリースされたときなどです。 本体起動中です。
	橙	点滅	サーバとの接続に失敗しました。正常に使用できません。
	赤	点灯	機器に異常が発生しています。
	赤	点滅	サーバとの接続に失敗しました。正常に使用できません。
	-	消灯	本体が正常な状態です。
③光ネットランプ	③光ネットランプ 緑 点灯		IPv4/IPv6アドレスが取得できました。
	緑	3回点滅	初期化が開始されました。
	橙	点滅	インターネット(BBIQ)に接続する前の状態です。
	橙	点灯	IPv4/IPv6アドレスを取得できませんでした。 本体起動中です。
	赤	点灯	IPv4/IPv6でインターネット接続に失敗しました。(認証失 敗) 機器に異常が発生しています。
	_	消灯	インターネット(BBIQ)をご契約されていません。

			1		
④無線2.4Gランプ	緑	点灯	お届け時の状態です。 2.4GHz帯の無線LAN通信が利用可能です。		
	緑	3回点滅	初期化が開始されました。		
	緑	点滅	2.4GHz帯の無線LAN通信でデータを送受信中です。		
	橙	点灯	本体起動中です。		
	橙	点滅	無線LAN簡単設定(WPS)を実行中です。		
	赤	点滅	無線LAN簡単設定(WPS)実行中の機器が2つ以上検出さ れました。		
	赤	早い点滅	無線LAN簡単設定(WPS)に失敗しました。		
	-	消灯	無線ルータ機能をご契約されていません。 無線ルータ機能が有効になっていません。		
⑤無線5Gランプ	緑	点灯	お届け時の状態です。 5GHz帯の無線LAN通信が利用可能です。		
	緑	3回点滅	初期化が開始されました。		
	緑	点滅	5GHz帯の無線LAN通信でデータを送受信中です。		
	橙	点灯	本体起動中です。		
	橙	点滅	無線LAN簡単設定(WPS)を実行中です。		
	赤	点滅	無線LAN簡単設定(WPS)実行中の機器が2つ以上検出さ れました。		
	赤	早い点滅	無線LAN簡単設定(WPS)に失敗しました。		
	-	消灯	無線ルータ機能をご契約されていません。 無線ルータ機能が有効になっていません。		
⑥電話1ランプ	緑	点灯	電話1がご利用可能です。(待ち受け中)		
	緑	3回点滅	初期化が開始されました。		
	緑	早い点滅	着信中です。		
	緑	点滅	通話中です。		
	橙	点灯	本体起動中です。		
	橙	点滅	受話器外れもしくは相手が話中です。		
	赤	点灯	BBIQ光電話サーバとの認証に失敗しました。 機器に異常が発生しています。		
	赤	点滅	BBIQ光電話サーバとの接続に失敗しました。		
	_	消灯	お届け時の状態です。 BBIQ光電話のご契約をされていません。		

⑦電話2ランプ	緑	点灯	電話2がご利用可能です。(待ち受け中)				
	緑	3回点滅	初期化が開始されました。				
	緑	早い点滅	早い点滅 着信中です。				
	緑	点滅	通話中です。				
	橙	点灯	本体起動中です。				
	橙	点滅	受話器外れもしくは相手が話中です。				
	赤	点灯 BBIQ光電話サーバとの認証に失敗しました。 機器に異常が発生しています。					
	赤	点滅	点滅 BBIQ光電話サーバとの接続に失敗しました。				
	_	消灯	お届け時の状態です。 BBIQ光電話のご契約をされていません。				
⑧オプションランプ	緑	3回点滅	初期化が開始されました。				
	橙	点灯	本体起動中です。				
	赤	点灯	機器に異常が発生しています。				



(補足) 早い点滅: 点灯 0.25 秒⇔消灯 0.25 秒を繰り返します。 点滅 : 点灯 0.5 秒⇔消灯 0.5 秒を繰り返します。

● 設定ボタン

名称	説明
再起動ボタン	本製品を再起動する場合に使用します。
初期化ボタン	本製品を初期化する場合に使用します。

■背面



● ランプ表示

名称	表示	、(色)	状態
①LAN1 ~ 4(SPEED)	橙	点灯	1000Mbpsで接続が確立しています。
ランプ	-	消灯	接続が確立していません。 または100Mbps/10Mbpsで接続が確立しています。
②LAN1 ~ 4(LINK/ACT)	緑	点灯	LAN側(パソコンなど)の接続が確立しています。
ランプ	緑	点滅	LAN側とデータを送受信しています。
	—	消灯	LAN側と接続が確立していません。
③WAN(SPEED)ランプ	橙	点灯	1000Mbpsで接続が確立しています。
	_	消灯	接続が確立していません。 または100Mbps/10Mbpsで接続が確立しています。
④WAN(LINK/ACT)ランプ	緑	点灯	WAN側(回線終端装置など)の接続が確立しています。
	緑	点滅	WAN側とデータを送受信しています。
	_	消灯	WAN側と接続が確立していません。

● その他

名称	説明
WPSボタン	WPS機能を利用して無線設定を行う場合に使用します。
USBポート	USB対応機器を接続します。
LANポート	パソコンなどを接続するポートです。
電話ポート	BBIQ光電話で使用する電話機を接続するポートです。
WANポート	BBIQ回線終端装置を接続するポートです。
電源コネクタ	電源アダプターを差し込むコネクタです。

● 初期化ボタンを押さないでください。

設定がすべてお届け時の状態になります。ご注意ください。

設置

本製品を設置する

本製品は、前後左右 5cm、上 5cm 以内に、パソコンや壁などの物がない場所に設置して ください。(壁掛けの場合は除く)



冷蔵庫や TV など、ノイズ源となる可能性のある機器の近くには設置しないでください。 本製品を横置きや重ね置きしないでください。横置きや重ね置きすると内部に熱がこもり、 故障の原因となることがあります。

、スタンドを付けて、縦置きにする

図のように、本製品本体に付属のスタンドを付けて縦置きでご使用ください。





ます。

[´] スタンドを用いて、壁掛けにする

■取り付けかた

スタンドを使用して壁に取り付けます。 あらかじめ、スタンドを本製品に装着して設置方向および設置スペースを確認してからス タンドを取り付けてください。

①付属のスタンドを底面が壁側になるように、付属の壁掛け設置用ネジで取り付けます。



②本製品を、下にスライドさせて固定させます。このとき、力をかけすぎると本製品および壁が破損する恐れがありますので注意してください。



- 壁掛けの場合、壁掛け面を除く上下左右に 5cm の空間を作って設置してください。
- 壁掛け時には落下すると危険ですので、大きな衝撃や振動などが加わる場所には設置しないでください。
- 壁掛け設置されている状態でケーブルなどの接続などを行う際には、落下すると危険で すので必ず本製品本体を手で支えながら行ってください。

●本製品が落下すると危険ですので、ベニヤ板などの柔らかい壁への壁掛け設置は避け、 確実に固定できる場所に設置してください。 また、壁掛け設置用ネジの先端が壁から突き出ないようにご注意ください。

■取り外しかた

①本製品を上にスライドさせて取り外します。このとき、力をかけすぎると本製品および 壁が破損する恐れがありますので注意してください。



②付属の壁掛け設置用ネジを壁から取り外し、付属のスタンドを取り外します。



機器の接続

本製品と各種機器の接続について説明します。 以下の図を参考に手順どおり接続してください。 本体背面の接続ポートのラベルの色とケーブルの色が同じ色どうしになるように接続しま す。(お客様でご準備していただく LAN ストレートケーブルを除く)

● 参照 本製品背面の各部名称についての詳しい説明は、「背面」(24 ページ)を ご覧ください。



本製品のWANポート(ラベル色:青色)とBBIQ回線終端装置を
 添付のLANケーブル(青色)で接続する

添付のケーブルでは長さが不足する場合は、100mを上限にできる限り短い市販のLANケーブルをお使いください。

2 LANポート(ラベル色:灰色/黄色)とパソコンをLANストレートケーブルで接続する

LAN1からLAN4のどのポートでも利用できます。4台までのパソコンを直接接続できます。

パソコンを接続する場合のLANストレートケーブルはお客さまでご用意ください。 WANポートと同様に100mを上限にできる限り短い市販のLANケーブルをお使いください。

(補足)パソコンやゲーム機がない場合は不要です。

- 3 本製品の電源ポート(ラベル色:赤色)と添付の電源アダプター(赤 色のタグ付き)を接続する
- 4 本製品の電話ポート(ラベル色:黒色)と、アナログ電話機また はFAXを添付の電話ケーブル(黒色)で接続する

電話機のダイヤル種別を以下のどれかに設定してください。

- ・プッシュ(PB)
- ・ダイヤルパルス(20PPS)
- ・ダイヤルパルス(10PPS)

5 電源アダプターをご家庭のコンセントへ接続する

- 6 本製品と無線子機を接続する
 - 参照 無線接続については、「パソコンを無線接続する場合」(83 ページ)をご 覧ください。

BBIQ 光電話

BBIQ光電話ご契約の場合、本製品の電話ランプが緑点灯しています。

電話をかける(発信)

- 1 電話機の受話器を取り上げる 本製品の電話1ランプまたは電話2ランプが緑点灯します。
- 2 相手先電話番号を押す 本製品の電話1ランプまたは電話2ランプが緑点滅します。
- 3 相手が出たら話す 通話が終わるまで、本製品の電話1ランプまたは電話2ランプが緑点滅します。

電話を受ける(着信)

1 電話機から着信音がなる 本製品の電話1ランプまたは電話2ランプが緑点滅します。

2 受話器を取って話す

通話が終わるまで、本製品の電話1ランプまたは電話2ランプが緑点滅します。

音の一覧

BBIQ 光電話の音について説明します。

音の種類	音がなる条件
発信音	受話器をあげると、ツーという連続音が聞こえます。この音がな っているときに相手先電話番号を押すと、音が止まります。
呼出音	相手を呼び出している間は受話器から「トゥルルルルル」と聞こえます。
	このこさは相手を呼び出し中です。相手が電話に出ると言か止まり、通話できます。
話中音	相手先電話番号を押したときに、相手がお話中だと「ツー、ツー」 と受話器から聞こえます。 一度受話器を電話機に置いて、再度電話をかけてください。
保留中表示音	通話中に相手に割込通話サービスなどの通信中着信機能で保留されると保留中を示す音(「トゥルルルル」、「ツー」など通話先の 通信事業者に依存します)が聞こえます。
着信音	電話がかかってくると、着信音がなります。このときに受話器を あげると通話できます。着信音は電話機に依存します。
通話中着信通知音 (割込通話サービス利用時のみ)	通話中に電話がかかってくると、受話器から「ツツ…ツツ…」と 聞こえます。このときにフックボタンを押すと割込通話サービス となります。割込通話サービスのご利用については、別途お申し 込みが必要です。
ハウラ音	通話していない状態で受話器をあげたままにしておくと、「ツー」 という連続音が大きくなりながら聞こえます。この音は受話器を あげたままの状態になっていることを通知する警告音です。受話 器を置けば止まります。
準正常エラー音	相手先電話番号を押したときに「ツツ・ツツ・」という音が聞こえ た場合、相手側やネットワークの一時的な不調が原因です。一度 受話器を置いて、再度電話をかけてください。
異常エラー音	BBIQ 光電話無線ルータで電話がかけられない状態で受話器をあ げると、高い音で「ピピ・ピピ・」または「ピー」という連続音が 聞こえます。 この音が聞こえたときは、「BBIQ光電話に関するトラブル」 (114ページ)をご覧ください。

設定(BBIQ 光電話無線ルータ設定画面)

BBIQ 光電話無線ルータ設定画面について

● BBIQ 光電話無線ルータ設定画面とは

本製品本体の設定は、「Internet Explorer」「Safari」といったブラウザソフトを利用して 設定画面にアクセスすることで行えます。 本製品の設定画面を BBIQ 光電話無線ルータ設定画面と記載しています。

BBIQ 光電話無線ルータ設定画面

	トップページ>トップ>現在の状態		
	現在の状態		~.⊎ ≓ ?
выц			
ビビック	【楊兴扶藤情報】		
	■PPPの状態		
	接続状態	接続	
	WAN側IPアドレス	10.3.1.106	
	リンク状態		
	WAN	通信中(100Mbps全二重)	
+トップ	LANI	停止中	
+ 無線設定	LAN2	停止中	
+詳細設定	LAN3	停止中	
	LAN4	通信中(100Mbps全二重)	
+ 1546	ハードウェア状態	正常	
- 10 18	「毎2月r 4 N·HEAD]		
	 アクセスボイント(2.4GHz) 		
	無線LAN状態	通信中	
	動作モード	IEEE802.11b/g/n 互換	
	使用チャネル	11(自動設定)	
	拡張チャネル	7(自動設定)	
	■アクセスポイント(5GHz)		
	無線LAN状態	通信中	
	動作モード	IEEE802.11acin/a互換	
	使用チャネル	52(自動設定)	
	拡張チャネル	56,60,64(自動設定)	
	「毎線」AN情報/SSID_1)]		
	国波数带	2.4GHz	~
);		

補足 ●BBIQ 光電話無線ルータ設定画面で行える設定の詳細は、ヘルプをご覧くだ さい。

●使用している画面の表示は、ご利用のブラウザや OS によって異なります。

■BBIQ 光電話無線ルータ設定画面での設定に対応したブラウザ

OS	対応しているブラウザ
Windows	Internet Explorer 11.0 / 10.0 / 9.0 / 8.0
Mac OS	Safari 3.04以上

■本章でご案内している操作・設定方法について

章題	説明
BBIQ光電話無線ルータ設定 画面を開く	BBIQ光電話無線ルータ設定画面を表示させる方法についてご案内します。
BBIQ光電話無線ルータ設定 画面を使う	BBIQ光電話無線ルータ設定画面の使い方についてご案内します。
パソコンを設定する	BBIQ光電話無線ルータ設定画面ご利用時のパソコンの設定方法をご 案内します。

BBIQ 光電話無線ルータ設定画面を開く

画面はご利用の OS やブラウザ(Internet Explorer · Safari など)によって異なります。 ※ここでは Windows 7 / Internet Explorer 11の画面を掲載していますが、ほかの OS やブラウザでも同じ手順で設定できます。

- こ利用のブラウザ (Internet Explorer・Safari など)を起動する
- 2 ブラウザのアドレス欄に「http://192.168.0.1/」と入力し、キー ボードの「Enter」または「return」を押す



3 ログイン画面が表示されるので、各項目を入力する

はじめて設定される場合は、ユーザー名「admin」、パスワード「**Marconson**」を 入力します。



4 「OK (または「ログイン」)」をクリックする



以下の画面が表示されれば、BBIQ光電話無線ルータ設定画面の開き方は完了です。

~	トッブページ > トッブ > 現在の状態		<u>^</u>
(DDIO)	現在の状態		A 11 ≠ ?
(BRIA)			
har har we have	F 48.00 4.246 Att Act		
	DESSIVER HAR		
XS-5A-01		描述	
	WANMIP7FL Z	10.3.1.106	
	 リンク状態 	I	
	WAN	通信中(100Mbps全二重)	
+トップ	LAN1	停止中	
+ 無線設定	LAN2	停止中	
+ 詳細設定	LAN3	停止中	
+ メンテナンス	LAN4	通信中(100Mbps全二重)	
+ 情報	ハードウェア状態	正常	
	- 【毎約r AN株板】		
	アクセスボイント(2.4GHz)		
	編練I AN対抗	通信中	
	動作モード	DEEE802.11b/g/n互换	
	使用チャネル	11(自動設定)	
	拡張チャネル	7(自動設定)	
	■アクセスポイント(5GHz)		
	無線LAN状態	通信中	
	動作モード	IEEE802.11acin/a互換	
	使用チャネル	52(自動設定)	
	拡張チャネル	(56,60,64(自動設定)	
	【無線LAN情報(SSID-1)】		
	周波数帯	2.4GHz	~
	12		

- 基本的な項目の設定方法は、「設定(BBIQ光電話無線ルータ本体)」 (69ページ)以降をご覧ください。
 - BBIQ光電話無線ルータ設定画面が正常に表示されない場合は、「BBIQ 光電話無線ルータ設定画面が開かない」(113ページ)をご覧ください。

BBIQ 光電話無線ルータ設定画面を使う

■ BBIQ 光電話無線ルータ設定画面を使う

BBIQ 光電話無線ルータ設定画面を開くと、以下のような画面が表示されます。

-	トップページ > トップ > 現在の状態		(3)	
	現在の状態	(AU7 ?	
выц		<u> </u>		
דדשק	【櫛翠状態情報】	2		
	■PPPの 状態			
	报続状態	接続		
	WAN側IPアドレス	10.3.1.106		
	■リンク状態			
	WAN	通信中(100Mbps全二重)		
+トップ	LAN1	停止中		
+ 無線設定	LAN2	停止中		
+ 詳細設定	LAN3	停止中		
+メンテナンス	LAN4	通信中(100Mbps全二重)		
+ 情報	ハードウェア状態	正常		
	ノ 「王約LAN情報]			
	■アクセスポイント(2.4GHz)	L //K-06(C-L)* IFTR2 ■アクセスポイント(2.4GHz)		
	無線LAN状態	通信中		
	動作モード	IEEE802.11b/g/n 互換		
	使用チャネル	11(自動設定)		
	拡張チャネル	7(自動設定)		
	■アクセスポイント(5GHz)			
	無線LAN状態	通信中		
	動作モード	IEEE802.11ac/n/a互換		
	使用チャネル	52(自動設定)		
	拡張チャネル	56,60,64(自動設定)		
	【無線LAN情報(SSID-1)】			
	周波数蒂	2.4GHz		

- ① 設定メニューです。「トップ」「無線設定」「詳細設定」「メンテナンス」「情報」のそれぞれのタイトル項目をクリックすると、詳細なメニューの表示 / 非表示を切り替えられます。
- ② 設定画面です。設定メニューで選択したタイトル項目の設定画面が表示されます。
- ③ 「ヘルプ」をクリックすると、ヘルプ画面が表示されます。ヘルプ画面では、各項目 の内容や入力できる文字列の条件などが確認できます。

設定変更は、通信・通話の切断や再起動を伴うことがあります。 設定変更を行う場合は、通信や通話を終了してから行ってください。

■契約内容を確認する

本製品は、契約内容によって、ご利用いただける機能が異なります。

~	トップページ >トップ > 現在の状態			
BBIQ	現在の状態		<u>AUJ</u> ?	
בבשס	【機器状態情報】			
	■PPPの 状態			
	接続状態	接続		
	WAN側IPアドレス	10.3.1.106		
	■リンク状態			
	WAN	通信中(100Mbps全二重)		
Ĵ.	LANI	停止中		
设定	LAN2	停止中		
	LAN3	停止中		
	LAN4	通信中(100Mbps全二重)		
	ハードウェア状態	正常		
	【 無線LAN情報】 ■アクセスボイント(2.4GHz)	【 無線LAN情報】 【 原2 ワセスポイント(2.46Hz)		
	無線LAN状態	通信中		
	動作モード	IEEE802.11b/g/n 互換		
	使用チャネル	11(自動設定)		
	拡張チャネル	7(自動設定)		
	■アクセスポイント(5GHz)	72723#124 (SGHz)		
	無線LAN状態	通信中		
	動作モード	IEEE802.11ac/n/a互換		
	使用チャネル	52(自動設定)		
	拡張チャネル	56,60,64(自動設定)		
	【無線LAN情報(SSID-1)】			
	国波数带	2.4GHz		

機能	機能の説明	確認方法
BBIQ光電話 アダプタ機能	BBIQ光電話をご利用いただくための 機能です。 ご利用には、BBIQ光電話サービスの お申し込みが必要です。	BBIQ光電話無線ルータ設定画面のトップ 画面で「電話の状態」をクリックし、【電 話番号1】または【電話番号2】の「サー バ登録状態」が登録済みであれば利用で きます。
無線ルータ機能	本製品の無線LAN通信機能を有効にす る機能です。 ご利用には、無線ルータ機能のお申し 込みが必要です。	BBIQ 光電話無線ルータ設定画面のトッ ブ画面の「現在の状態」の【無線LAN情報】 に情報が表示されていれば利用できます。
「パソコンを設定する

本製品を利用するためのパソコンの設定方法について説明します。

(補定) ここで説明している設定は、「BBIQ 光電話無線ルータ設定画面を開く」(33 ページ)で BBIQ 光電話無線ルータ設定画面を表示することができなかった場 合のみ必要です。

■無線ルータ機能をご利用の場合

本製品の「DHCPv4 サーバ機能^{*}」のチェックを外した場合は、IP アドレスを固定に設定 する必要があります。 ※初期の設定では、「DHCPv4 サーバ機能」にチェックがされています。

詳細は、「無線ルータ機能をご利用にならない場合」(56ページ)をご覧ください。

Windows をご利用の場合

● 参照 こ利用の03を唯認し、該当のハーノに進んしてたさい	🖝 参照	ご利用のOSを確認し、	該当のページに進んでください
--------------------------------	------	-------------	----------------

- Windows 8 / 8.1の場合、37 ページ
- Windows 7の場合、42 ページ
- Mac OSの場合、50ページ

● パソコンのネットワークの設定(Windows 8 / 8.1)

] 「スタート」画面から「デスクトップ」をクリックする

スタート			user 🔑	م ڻ
3-16	Intermet Lupikorer 2,1-7	AJ237		
n.29-	10 157	المراجع		
People	2711			
7-Falex	** -			
	۲			
520167	=2			





3 右側にメニューが表示されるので、「設定」をクリックする





7 「イーサネット」のアイコンを右クリックし、「プロパティ」をク リックする



8 「インターネット プロトコル バージョン4 (TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ」をクリックする

9	イーサネッ	トのプロパティ		×
ネットワーク				
接続の方法:				
🔮 Real	tek PCIe GBE Fami	ly Controller		
この接続は次	の項目を使用します(Q)):	構成(<u>C</u>)	
	5 バケット スケジューラ rosoft Network Ada rosoft LLDP Protocc (-Layer Topology Di (-Layer Topology Di <u>ターネット プロトコル パー</u> ターネット プロトコル パー	pter Multiplexor ol Driver scovery Mapper scovery Respon 작곡 6 (TCP/IPv >ㅋ> 4 (TCP/IPv	Protocol I/O Driver der 6)	~
インストーノ 説明 伝送制御 ネットワーク ルです。	レ(N) プロトコル/インターネット 7間の通信を提供する、	除(リ) プロトコル。相互接続 既定のワイド エリア:	プロパティ(<u>R</u>) 売されたさまざまな ネットワーク プロトコ	D
		ОК	キャンセ	JL

9

「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレ スを自動的に取得する」にチェックが入っていることを確認し、 「OK」をクリックする

インターネット プロトコル バージョン	2 4 (TCP)	/IPv4	4)のプロパティ	×
全般代替の構成				
ネットワークでこの機能がサポートされている場合 きます。サポートされていない場合は、ネットワー てください。	さは、IP 設定 ク管理者に通	を自動 創切な I	的に取得すること P 設定を問い合れ	がで bせ
 IP アドレスを自動的に取得する(Q))			
○次の IP アドレスを使う(S):				
IP アドレス(I):				
サブネット マスク(U):				
デフォルト ゲートウェイ(<u>D</u>):				
● DNS サーバーのアドレスを自動的に取得	ずる(<u>B</u>)			
○次の DNS サーバーのアドレスを使う(E):				
優先 DNS サーバー(<u>P</u>):				
代替 DNS サーバー(<u>A</u>):				
終了時に設定を検証する(L)			詳細設定(⊻).	
	C	ОК		til

補足 本製品の「DHCPv4 サーバ機能」のチェックを外した場合は、IP アド レスを固定に設定する必要があります。

詳細は、「無線ルータ機能をご利用にならない場合」(56 ページ)を ご覧ください。

10「閉じる」をクリックする

	ſ	ーサネットのプロノ	ペティ	×
ネットワーク				
接続の方法				
💇 Rea	altek PCIe GE	BE Family Contro	ller	
この接続は	欠の項目を使用	します(<u>0</u>):	構成(<u>C</u>))
♥ ■ Mi ♥ ■ QQ □ → Mi ♥ → Li ♥ → Li	crosoft ネットワ S パケット スケ5 crosoft Netw crosoft LLDP hk-Layer Tope hk-Layer Tope	ワーク用ファイルとプリン ジューラ oork Adapter Mult Protocol Driver ology Discovery I	/ター共有 tiplexor Protocol Mapper I/O Driver Responder	~
インスト-	-ル(<u>N</u>)	削除(<u>U</u>)	プロパティ(<u>R</u>)
説明 コンピュー	・ターから Micro	soft ネットワーク上の	Dリソースにアクセスできま	₹ 7 .

これでパソコンのネットワークの設定(Windows 8 / 8.1)は完了です。 続けて、「● ブラウザの設定(Windows)」(45 ページ)に進んでください。

- パソコンのネットワークの設定(Windows 7)
 - 📔 「スタート (💽)」から「コントロールパネル」をクリックする



2

「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックする



З

「アダプターの設定の変更」をクリックする



「ローカルエリア接続」のアイコンを右クリックし、「プロパティ」 4 をクリックする





補足)「ユーザーアカウント制御」の画面が表示された場合は、「続行」をクリッ クしてください。

5

「インターネット プロトコル バージョン4 (TCP/IPv4)」を選 択し、「プロパティ」をクリックする



6 「IPアドレスを自動的に取得する」と「DNSサーバーのアドレ スを自動的に取得する」にチェックが入っていることを確認し、 「OK」をクリックする

インターネット プロトコル パージョン 4 (TCP)	/IPv4)のプ	ロパテ・	1	? ×
全般(代替の構成				
ネットワークでこの標能がサポートされている場合 きます。サポートされていない場合は、ネットワー てください。	i(は、IP 設定 り管理者(こ)	を自動 重切な	的に取得す IP 設定を開	することがで 聞い合わせ
 IP アドレスを自動的に取得する(Q))		
 次の IP アドレスを使う(S): 				
IP アドレス(1):				
サブネット マスク(山):				
デフォルト ゲートウェイ(<u>D</u>):				
● DNS サーバーのアドレスを自動的に取得	する(<u>B</u>)	C		
 次の DNS サーバーのアドレスを使う(E): 				
優先 DNS サーバー(P):				
代替 DNS サーバー(<u>A</u>):				
□ 終了時(ご設定を検証する(L)			I¥&BBS	te(V
	C	OK		キャンセル

補足 本製品の「DHCPv4 サーバ機能」のチェックを外した場合は、IP アド レスを固定に設定する必要があります。

詳細は、「無線ルータ機能をご利用にならない場合」(56 ページ)を ご覧ください。

7 「閉じる」をクリックする

ローカル エリア接続のプロパティ						
ネットワーク						
接続の方法						
🔮 Broadcom NetXtreme Gigabit Ethernet						
構成(C) この接続は次の項目を使用します(Q):						
● QoS パケット スケジューラ ● Microsoft ネットワーク用ファイルとグリンター共有 ● メークショーネット プロトコル パージョン 6 (TOP/IPv6) セークターネット プロトコル パージョン 4 (TOP/IPv4) ● エ Link-Layer Topology Discovery Mapper I/O Driver ● Link-Layer Topology Discovery Mapper I/O Driver						
۰						
インストール(N) 削除(U) プロパティ(B)						
説明 コンピューターから Microsoft ネットワーク上のリソースにアクセスできます。						
開しる キャンセル						

これでパソコンのネットワークの設定(Windows 7)は完了です。 続けて、「● ブラウザの設定(Windows)」(45 ページ)に進んでください。

● ブラウザの設定(Windows)

一例として「Internet Explorer 11」を利用した場合の画面で説明します。

● 参照 Mac OS をご利用の場合は、50 ページをご覧ください。



補足 Windows 8 / 8.1 をご利用の場合は、設定をはじめる前に、「スタート」
 画面から「デスクトップ」をクリックして、画面を切り替えておいてください。



2 「ツール ()」から「インターネットオプション」をクリック する



3 LANの設定をする

● 「接続」タブをクリックし、「ダイヤルしない」にチェックを入れ、「LAN の設 定」をクリックする。

インターネット オプション	? ×
全般 セキュリティ プライバシー コンテン! (接続)10グ	ラム 詳細設定
インターネット接続を設定するには、 [セットアップ]をクリックしてください。	セットアップ(<u>U</u>)
ダイヤルアップと仮想プライベート ネットワークの設定	
🎒 ブロードバンド接続 (既定)	追加(<u>D</u>)
	VPN の追加(<u>P</u>)
	削除(<u>R</u>)
プロキシ サーバーを構成する必要がある場合は、 [設定] を選択してください。	設定(<u>S</u>)
● タイヤルしない(C)	
 ○ キットワーフ接続パチョニしないときには、テイドルする(<u>w</u>) ○ 通常の接続でダイヤルする(<u>Q</u>) 	
現在の既定値: ブロードバンド接続	
ローカル エリア ネットワーク (LAN) の設定	
LAN の設定はダイヤルアップ接続には適用されません。ダイ ヤルアップには上の設定を選択してください。	LAN の設定(<u>L</u>)
OK A	デャンセル 通用(A)

● すべての項目のチェックを外し、「OK」をクリックする。

ローカル エリア ネットワーク (LAN) の設定
自動構成 自動構成にすると、手動による設定事項を上書きする場合があります。手動による 設定を確実に使用するためには、自動構成を無効にしてくたさい。
日本での日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の
目動構成スクリプトを使用する(S)
7FLZ(B):
プロ=・シ サーバー
AN にプロキシ サーバーを使用する (ごれらの設定はダイヤルアップまたは VPN 長続には適用されません)(X)
アドレス(E): ポート(I): 詳細設定(<u>C</u>)
ローカル アドレスにはプロキシ サーバーを使用しない(B)
ОК +руди

「インターネットオプション」画面が再び表示されます。

●「適用」をクリックする。

インターネット オプション	? X
全般 セキュリティ プライバシー コンテンツ 接続 プログ	うム 詳細設定
インターネット接続を設定するには、 [セットアップ]をクリックしてください。	セットアップ(<u>U</u>)
ダイヤルアップと仮想プライベート ネットワークの設定	
ジロードバンド接続 (既定)	追加(D)
	VPN の追加(<u>P</u>)
	削除(<u>R</u>)
プロキシ サーバーを構成する必要がある場合は、 [設定] を選択してください。	設定(<u>S</u>)
必 ダイヤルしない(C)	
○ ネットワーク接続が存在しないときには、ダイヤルする(W)	
◎ 通常の資源でダイヤル93(Q) 現在の既定値: ブロードバンド接続	
ローカル エリア ネットワーク (LAN) の設定	
LAN の設定はダイヤルアップ接続には適用されません。ダイ ヤルアップには上の設定を選択してください。	LAN の設定(<u>L</u>)
OK A	テャンセル 通用(<u>A)</u>

(補足) 「適用」のボタンがクリックできない状態の場合は、そのまま手順 4. に 進んで問題ありません。

4 サイトの設定をする

●「セキュリティ」タブをクリックし、「信頼済みサイト」をクリックする。



●「サイト」をクリックする。

イン	/ター	ネットオ	プション				? ×	
	全般	セキュリラ	イ プライバシー	コンテンツ	接続 プログ	ラム 詳細設定		
	セキ	ュリティ設定	を表示または変更	更するゾーンを	を選択してくださ	<i>.</i>		
			G		\checkmark	0		
	1	ンターネット	ローカル イン ト	/トラネッ 📗	≣頼済みサイト	制限付きサイ	ſŀ	
		信果	1済みサイト バーンにけ コンゼ	コーターやファ	イルに増生を与		(h(<u>s)</u>)
	$\mathbf{\vee}$	と信	クリンには、コンヒ 頼している Web	サイトが含ま	れています。	Nav		1

●「このゾーンのサイトにはすべてサーバーの確認(https:)を必要とする」のチェックを外す。

信頼済みサイト		×
्र इर	Dゾーンの Web サイトの追加と削除ができます。この) べてに、ゾーンのセキュリティ設定が適用されます。	『ーンの Web サイト
この Web サ	イトをゾーンに追加する(<u>D</u>):	
		追加(<u>A</u>)
Web サイト()	<u>W</u>):	
		<u>削除(R)</u>
201->	のサイトにはすべてサーバーの確認 (https:)を必要。	<u> </u>
		閉じる(<u>C</u>)

●「この Web サイトをゾーンに追加する」に「http://192.168.0.1/」と入力し、 「追加」をクリックする。

信頼済みサイト
このソーンの Web サイトの追加と削除ができます。このソーンの Web サイト すべてに、ソーンのセキュリティ設定が適用されます。
この Web サイトをゾーンに追加する(D):
http://192.168.0.1/ 追加(A)
Web サイト(<u>W</u>):
削除(<u>R</u>)
このソーンのサイトにはすべてサーバーの確認 (https:) を必要とする(S)
[]][23(四]]

● 「閉じる」 をクリックする。

5 レベルのカスタマイズを設定する

●「レベルのカスタマイズ」をクリックする。

インターネット オプション ? ×
全般 セキュリティ ブライバシー コンテンツ 接続 ブログラム 詳細設定
セキュリティ設定を表示または変更するゾーンを選択してください。
インターネット ローカル イントラネッ 信頼済みサイト 制限付きサイト ト
信頼済みサイト このソーンには、コンピューターやファイルに損害を与えない サイト(S) と信頼している Web サイトが含まれています。
このゾーンのセキュリティのレベル(<u>L</u>)
このゾーンで許可されているレベルン: すべて
 ・
■ 保護モードを有効にする (Internet Explorer の画記動が必要)(P) レベルのカスタマイズ(C) 取定のレベル(P) マペズのソーンを研定のレベルにリヤットする(R)
2. (0) 260000 (NC)(2) 3.(7)
OK キャンセル 適用(A)

● 画面をスクロールし、「アクティブ スクリプト」の「有効にする」にチェックを 入れる。

セキュリティ設定 - 信頼されたゾーン	×
設定	
 	•
 	
 ○ タイア⊔クを表示する ○ 無効にする ○ 有効にする 	
○ スワリナトでのステータス 八一の更新を許可する ○ 無効にする	=
 ・ 有効にする ・ ・ ・	
 ダイアログを表示する 無効にする ニューマーマーマーマーマーマーマーマーマーマーマーマーマーマーマーマーマーマーマ	
 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	-
*コンピューターの再起動後に有効になります	
カスタム設定のリセット	
リセット先(氏): 中(既定) ・ リセット(E)	
ОК (‡17/2	ıL

● 画面をスクロールし、「ファイルのダウンロード」の「有効にする」にチェック を入れる。

セキュリティ設定 - 信頼されたゾーン	×
設定	
 無効にする 有効にする 	^
 塗 タウンロード 塗 ファイルのダウンロード 	
 無効にする ● 有効にする 	
 ご フォンドのダワンロード ジイアログを表示する 	
 	
28. ユーサー認証 28. ログオン	
 ● イントラネット ゾーンでのみ自動的にログオンする ● ユーザー名とパスワードを入力してログオンする 	
 現在のユーザー名とパスワードで自動的にログオンする 匿名でログオンする 	*
۲ () () () () () () () () () (
*コンピューターの再起動後に有効になります	
カスタム設定のリセット	
リセット先(<u>R</u>): 中(既定) ・ リセット(E)	
ОК \$72/2	JL

● [OK] をクリックする。

これでブラウザの設定(Windows)は完了です。

Mac OS をご利用の場合

システム終了... user をログアウト...

● パソコンのネットワークの設定(Mac OS)

Mac OS 10.9 を利用した場合の画面で説明しています。

企業Q

● 参照 Windows をご利用の場合は、37 ページをご覧ください。

「アップルメニュー(💽)」から「システム環境設定」をクリッ 1 クする **Finder** ファイル 編集 表示 この Mac について ソフトウェア・アップデート... App Store... システム環境設定. Dock 最近使った項目 ۲ Finder を強制終了 でおいい スリープ 再起動...

2

「ネットワーク」をクリックする



3 左のメニューからEthernetが接続しているインタフェース名を クリックする

接続されているインタフェースによって表示が異なる場合があります。

$\Theta \Theta \Theta$	ネットワー	· 🤈
▲ ▶ すべてを表示		Q
ネットワーク	環境: 自動	\$
● USB Githernet →→ + 接載 ● Wi-Fi ⑦ → ● Bluetooth PAN 未設載	状況: IPv4 の設定:	ケーブル未接続 USB Glapabit Ethernet にケーブルが接続されてい ないか、ケーブルの反対側に接続されている装置 が応答していません。 DHCP サーバを使用 :
	IP アドレス: サプネットマスク: ルーター: DNS サーパ: 検索ドメイン:	
+ - \\$*		詳細 ? アシスタント 元に戻す 適用

4 「IPv4の設定」のプルダウンメニューの表示を確認する

- 「DHCPサーバを使用」と表示されている場合は、「● ブラウザの 設定(Mac OS)」(55ページ)に進んでください。
 - 「DHCPサーバを使用」以外の項目が表示されている場合は、手順 5.に進んでください。

000	ネットワー	2
▲ ▶ すべてを表示		٩
ネットワーク	環境: 自動	:
● USB Githernet ↔ 来接載 ● XVI-Fi 令	状況:	ケーブル未接続 USB Gigabit Ethernet にケーブルが接続されてい ないか、ケーブルの反対側に接続されている装置 が応答していません。
e Bluetooth PAN 彩 未接続	IPv4 の設定:	DHCP サーバを使用 :
	IP アドレス:	
	サプネットマスク:	
	ルーター:	
	DNS サーパ:	
	検索ドメイン:	
+ - **		詳細 ?
		アシスタント 元に戻す 適用

補足 本製品の「DHCPv4 サーバ機能」のチェックを外した場合は、IPアドレスを固定に設定する必要があります。

詳細は、「無線ルータ機能をご利用にならない場合」(56 ページ)を ご覧ください。

5 ネットワーク環境を設定する

●「ネットワーク環境」のプルダウンメニューから、「ネットワーク環境を編集」を 選択する。

000	ネットワー	<i>b</i>	
▲ ▶ すべてを表示		Q	
ネットワーク類	環境:√ 自動		
● USB Githernet ↔ 未接続 ● ¥i-Fi 중	ネットワーク環境: 状況:	コー笑… ケーブル未接続 USB Gigabit Ethernet にケーブルが投続されて ないか、ケーブルの反対側に接続されている装置 が応答していません。	
e Bluetooth PAN 👔	IPv4 の設定:	DHCP サーパを使用	\$
	IP アドレス:		
	サブネットマスク:		
	ルーター:		
	DNS サーパ:		
	検索ドメイン:		
+ - 🌣		詳細	?
		アシスタント 元に戻す	適用

● 「 + 」をクリックし、「入力項目」に「QTNet」と入力する。

000	ネットワーク	
▲ ▶ すべてを表示		٩
ネットワーク	ネットワーク環境 自動 QTNet	
e _{xba} e		こケーブルが接続されてい 1例に接続されている装置
● Bluetooth PAN ⑧ 未接続	(+)- ☆+ (
	ルーター: DNS サーバ:	
	検索ドメイン:	
		**## (2)
+ - &*	7923	

●「完了」をクリックする。

6 「ネットワーク環境」のプルダウンメニューから「QTNet」を選択し、左のメニューからEthernetが接続しているインタフェー ス名をクリックする

000	ネットワー	ク	
▲ ▶ すべてを表示		Q)
ネットワーク	環境: QTNet	:	
● USB Githernet 《∞》 未接続 ● <mark>Wi-Fi</mark> ⑦	状況:	ケーブル未接続 USB Gigabit Ethernet にケーブルが接続されてい ないか、ケーブルの反対側に接続されている装置 が応答していません。	
● Bluetooth PAN 脉	IPv4 の設定:	DHCP サーパを使用 ÷	
	IP アドレス:		
	サブネットマスク:		
	ルーター:		
	DNS サーバ:		
	検索ドメイン:		
+ - \\$*		詳細	
		アシスタント 元に戻す 適用	

7 「IPv4の設定」のプルダウンメニューから「DHCPサーバを使用」 を選択し、「適用」をクリックする

000	ネットワーク	7
▲ ▶ すべてを表示		Q
ネットワーク	環境: QTNet	÷
● USB Githernet ↔ 未按統 ● Wi-Fi 중	状況: /	ケーブル未接続 JSB Gigabit Ethernet にケーブルが接続されてい よいか、ケーブルの反対側に接続されている装置 Micrat エンはませ
● Bluetooth PAN 後	IPv4 の設定:	DHCP サーバを使用 ÷
	サブネットマスク:	
	DNS サーパ: 絵本ドマイン・	
	快来にメイン・	
+ - 🌣 *		
		アジスダント 元に戻す 適用

これでパソコンのネットワークの設定(Mac OS)は完了です。 続けて「● ブラウザの設定(Mac OS)」(55 ページ)に進んでください。

● ブラウザの設定 (Mac OS)

一例として「Safari」を利用した場合の画面で説明します。

● 参照 Windows をご利用の場合は、37 ページをご覧ください。

] 「Dock」から「Safari」をクリックする



2 メニューバーの「Safari」から「環境設定」をクリックする



3 セキュリティの設定をする

●「セキュリティ」をクリックする。

000	一般	
一般 タブ 自動入力 パスワードセキュリティ プライパミ	 通知 機能拡張 詳細 	
デフォルト Web ブラウザ:	🍥 Safari (7.0.5)	\$
デフォルト検索エンジン:	Google	\$
Safari の起動時:	新規ウインドウ	\$
新規ウインドウを開く場合:	Top Sites	\$
新規タブを開く場合:	Top Sites	\$
ホームページ:		
	現在開いているページを指定	
履歴からの削除:	1 年後	\$
Top Sites に表示:	12 サイト	\$
ダウンロードしたファイルの保存先:	💿 ダウンロード	\$
ダウンロードリストからの削除:	手動	\$
	 ダウンロード後、"安全な"ファイルを開く "安全な"ファイルには、ムービー、画像、サウンド、 PDF やテキスト書類、およびアーカイブが含まれま: 	[#] . (?)

●「JavaScript を有効にする」にチェックを入れる。



これでブラウザの設定(Mac OS)は完了です。

■無線ルータ機能をご利用にならない場合

Windows をご利用の場合

● 参照	ご利用のOSを確認し、該当のページに進んでください。 • Windows 8 / 8.1の場合、56 ページ • Windows 7の場合、62 ページ
	 Mac OSの場合、64 ページ

● IP アドレスを固定に設定する方法(Windows 8 / 8.1)

本製品の「DHCPv4 サーバ機能」のチェックを外した場合は、以下の方法で IP アドレスを固定に設定してください。

| 「スタート」画面から「デスクトップ」をクリックする



2 画面右上隅または右下の隅にマウスのカーソルを移動する





3 右側にメニューが表示されるので、「設定」をクリックする



58

7 「イーサネット」のアイコンを右クリックし、「プロパティ」をク リックする

ار–۵۲<⊂ • 🖳 ↑ 🕞 🛞	, パネル ト ネットワークとインターネット ト	ネットワーク接続
整理 ▼ このネットワーク デバイス	を無効にする この接続を診断する	この接続の名前
A-サオット A91 0-97 2 Realtek PCIe GBE	無効にする(B) 状態(U) 診断(I)	
0	ブリッジ接続(G)	
() () ()	ショートカットの作成(S) 削除(D) 名前の変更(M)	
8	プロパティ(R)	

8 「インターネット プロトコル バージョン4 (TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ」をクリックする

ネットワーク				
接続の方法:				
Realtek PCIe GBE Family Controller				
構成(<u>C</u>) この接続は次の項目を使用します(<u>Q</u>):				
受 Qos パット スクシューラ ・ Microsoft Network Adapter Multiplexor Protocol ・ Microsoft LLDP Protocol Driver ・ Link-Layer Topology Discovery Mapper J/O Driver ・ 上 Link-Layer Topology Discovery Responder ・ ムームーネット・プロトレート・マネット イアロアしから) ・ インカーネット・プロトレー・マネット イアロトレート				
説明 伝送制約プロトコル/インターネット プロトコル・相互接続されたさまざまな ネットワーク間の通信を提供する、説定のワイド エリア ネットワーク プロトコ ルです。				
OK キャンセル				

以降の手順はすべてのWindowsのバージョンで共通になります。

9 IPアドレスを入力する

●「次の IP アドレスを使う」にチェックを入れる。

インターネット プロトコル バージョン	4 (TCF	P/IPv	4)のプロ	パティ・
全般				
ネットワークでこの機能がサポートされている場合は きます。サポートされていない場合は、ネットワーク覧 てください。	、IP 設) 管理者に	宅を自重 適切な	的に取得 IP 設定を	はることがで 問い合わせ
○ IP アドレスを自動的に取得する(O) ● 次の IP アドレスを使う(S):				
IP アドレス(<u>I</u>):				
サブネット マスク(U):				
デフォルト ゲートウェイ(<u>D</u>):				
● DNS サーバーのアドレスを自動的に取得す	3(<u>B</u>)			
● 次の DNS サーバーのアドレスを使う(E):				
優先 DNS サーバー(<u>P</u>):				
代替 DNS サーバー(<u>A</u>):				
□終了時に設定を検証する(L)			詳細談	锭(⊻)
		ОК		キャンセル

- ●各項目を入力する。
 - ※ここで説明している設定は、本製品の「詳細設定」をお届け時の状態から変 更されていない場合です。変更されている場合は、変更した設定に合った値 を入力してください。



●「OK」をクリックする。

インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4)のプロパティ						
全般						
ネットワークでこの機能がサポートされている場合は、IP 設定を目動的に取得することがで きます。サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に違切な IP 設定を問い合わせ てください。						
○ IP アドレスを自動的に取得する(Q)						
 ⑦次の IP アドレスを使う(S): 						
IP アドレス(<u>I</u>):	192.168.0.2					
サブネット マスク(<u>U</u>):	255 . 255 . 255 . 0					
デフォルト ゲートウェイ(<u>D</u>):	192.168.0.1					
● DNS サーバーのアドレスを自動的に取得	 DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(<u>B</u>) 					
 ⑦ 次の DNS サーバーのアドレスを使う(E) 	:					
優先 DNS サーバー(<u>P</u>):	192.168.0.1					
代替 DNS サーバー(<u>A</u>):						
□ 終了時に設定を検証する(上)	詳細設定(⊻)					
	OK キャンセル					

┃0「閉じる」をクリックする

Ц.	イーサネットのプロパティ	×			
ネットワーク					
接続の方法:					
🔮 Realtek	CPCIe GBE Family Controller				
	構成(<u>C</u>	.)			
この接続は次の項	頁目を使用します(<u>0</u>):				
Performance Performac	Marcologa January 10 - 4 January 1	>			
インストール(ト	<u>4</u>) 削除(<u>U</u>) プロパティ(<u>(R</u>)			
_{品で明} コンピューター が	aだり コンビューターから Microsoft ネットワーク上のリソースにアクセスできます。				
	閉じる *	ヤンセル			

これでIPアドレスを固定に設定する方法(Windows 8 / 8.1)は完了です。 BBIQ光電話無線ルータ設定画面に正常にログインできることを確認してください。

- IP アドレスを固定に設定する方法(Windows 7)
 - 📔 「スタート (💽)」から「コントロールパネル」をクリックする



2

「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックする



З

「アダプターの設定の変更」をクリックする



4 「ローカルエリア接続」のアイコンを右クリックし、「プロパティ」 をクリックする



補足 「ユーザーアカウント制御」の画面が表示された場合は、「続行」をクリッ クしてください。

5

「インターネット プロトコル バージョン4(TCP/IPv4)」を選 択し、「プロパティ」をクリックする



● 参照 続けて60 ページの手順9.に進んでください。

Mac OS をご利用の場合

IP アドレスを固定に設定する方法(Mac OS)

Mac OS 10.9 を利用した場合の画面で説明しています。

- ご利用のOSを確認し、該当のページに進んでください。

 Windowsの場合、56ページ
- 「アップルメニュー())」から「システム環境設定」をクリックする



2 ネットワーク環境の設定をする

●「ネットワーク」をクリックする。



●「ネットワーク環境」のプルダウンメニューから、「ネットワーク環境を編集」を 選択する。

ネットワー:	ク環境: ✔ 目動 ネットワーク環境	を編集	
● USB Githernet www 未接続 ● <mark>Wi-Fi</mark> ⑦	状況:	ケーブル未接続 USB Gigabit Ethernet にケーブルが接続されてい ないか、ケーブルの反対側に接続されている装置 が応答していません。	LV R
e Bluetooth PAN 脉	IPv4 の設定:	DHCP サーパを使用	\$
	IP アドレス:		
	サブネットマスク:		
	ルーター:		
	DNS サーバ:		
	検索ドメイン:		
+ - **		詳細	?
		アシスタント 元に戻す	適用

000	ネットワーク	
▲ ▶ すべてを表示		Q
ネットワージ	ネットワーク環境 自動 OTNet	:
● USB Githernet ● 未接続 ● Xi-Fi 入	(dened	こケーブルが接続されてい 対例に接続されている装置
● Bluetooth PAN	(+)- **	电 ;
	ルーター: DNS サーパ:	
	検索ドメイン:	
+ - 🌣		詳細 ?
	アシ	スタント 元に戻す 適用

●「完了」をクリックする。

3 「ネットワーク環境」のプルダウンメニューから手順2.で入力した 任意の名前を選択し、左のメニューからEthernetが接続してい るインタフェース名をクリックする

000	ネットワー	<i><i></i></i>
▲ ▶ すべてを表示		Q
ネットワーク	環境: QTNet	;
● USB Cithernet 《∞》 未按統 ◎ Wi-Fi ⑦	状況:	ケーブル未接続 USB Gigabit Ethernet にケーブルが接続されてい ないか、ケーブルの反対側に接続されている装置 が応答していません。
● Bluetooth PAN 未接続	IPv4 の設定:	DHCP サーパを使用 🛟
	IP アドレス:	
	サブネットマスク:	
	ルーター:	
	DNS サーパ:	
	検索ドメイン:	
+ - &*		詳細
		アシスタント 元に戻す 適用

4 IPアドレスを入力する

●「IPv4の設定」のプルダウンメニューから、「手入力」を選択する。

$\Theta \Theta \Theta$	ネットワーク	
▲ ▶ すべてを表示		Q
ネットワーク	環境: QTNet	•
● USB GLthernet 金融 ● 人 容示 ● 人 容示 ● Bluetooth PAN 登	 状況: ケーブル未 US8 Cigable E 43/05, ケーゴ US8 Cigable E 43/05, ケーゴ US8 Cigable E 43/05, ケーゴ US8 Cigable E 43/05, ケーゴ DHCP サー DHCP サー DHCP サー DHCP サー DHCP サー DHCP サー DHCP サー DHCP サー DHCP サー DHCP サー DH	25年 themest にクーブルガ復続されてい ジルの反対側に接続されている装置 され。 -パを使用 -パを使用(アドレスは手入力) -パを使用(アドレスは手入力) -パを使用
+ - **		詳細 ?
	7923	ント 元に戻す 適用

●各項目を入力し、「詳細」をクリックする。

※ここで説明している設定は、本製品の「詳細設定」をお届け時の状態から変 更されていない場合です。変更されている場合は、変更した設定に合った値 を入力してください。

 ● ○ ○ ● ○ ○ 	てを表示	ネットワー	٩	/	「IPアドレス」 192.168.0.XXX
● <u>USB Cith</u> ★該統 ● Wi-Fi 入 ● <u>B</u> Letooth I	ネットワーク環境 ernet 令 PAN	: QTNet 状況: IPV4 の設定: IP アドレス: サブネットマスク: ルーター: DNS サーバ: 検索ドメイン:	: ケーブル未接続 USB Glaphit thernet にクーブルが提続されてい ないか、クーブルの反対側に提続されている装置 が応告していません。 手入力 192.168.0.2 255.255.255.0 192.168.0.1		※ XXXには2~254 の任意の値を入力 してください。 複数の端末(パソ コン・スマート フォンなど)を接 続される場合は、 すべて異なる値を 入力する必要があ ります。
+ - **			(詳細)?) アシスタント 元に戻す 適用		「サブネットマスク」 255.255.255.0 「ルーター」 192.168.0.1

●「DNS」を選択し、DNS サーバの「 + 」をクリックする。



●入力欄に「192.168.0.1」と入力し、「OK」をクリックする。

00	ネット	フーク		
■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■			٩	
3 USB Gigabit Ethernet				
TCP/IP DNS	WINS 802.	LX プロキシ	ハードウェア	
	103			
DNS サーパ:		検索ドメイン		
192.168.0.1				
	2			
	1			
+ - IPv4 または IPv6 アド	レス	+ -		
				L] (
?			キャンセル	ОК
		7929	2 harring Rick	

5 「適用」をクリックする

 ● ○ ○ ■ ● ○ ○ すべてを表示 	ネットワー	Q
ネットワーク	環境: QTNet	÷
● USB CIthernet 未提載 ● 入 ● Buetooth PAN 未提載 ● Solution	状況: IPv4 の設定: IP アドレス: サブネットマスク: ルーター: DNS サーバ: 検索ドメイン:	ケーブル未接続 US8 Glgabit Ethernet にケーブルが接続されていないか、ケーブルの反対側に接続されている装置 が応信していません。 手入力 *) 192.168.0.2 255.255.255.0 192.168.0.1 192.168.0.1
+ - \$*		詳細… ? アジスタント… 元に戻す 通用

これで「IPアドレスを固定に設定する方法(Mac OS)」は完了です。 BBIQ光電話無線ルータ設定画面に正常にログインできることを確認してください。

設定(BBIQ 光電話無線ルータ本体)

本体の設定について説明します。

本体設定のご案内

章題	説明
機器設定用パスワードを変更する	本製品に設定した機器設定用パスワードを変更します。
再起動する	本製品の再起動を行います。
初期化する	本製品をお届け時の状態に戻します。 本製品に設定した情報はすべて削除されます。
設定を保存・復元する	本製品に設定した情報をパソコンへ保存します。 保存したファイルから設定を復元することもできます。

機器設定用パスワードを変更する

BBIQ 光電話無線ルータ設定画面へログインする機器設定用パスワードの変更方法を説明します。

ご利用のブラウザを起動して、BBIQ光電話無線ルータ設定画面を開き、左のメニューから「メンテナンス」をクリックする

	トッブページ >トップ > 現在の状態		^
CDDIO	現在の状態		~u⊳≠ ?
выц			
FFw7	【播兴北能情報】		
	■PPPの状態		
XS-5A-01	接続状態	撮続	
	WAN側IPアドレス	10.3.1.106	
	WAN	通信中(100Mbps全二重)	
+トップ	LANI	停止中	
+ 無線設定	LAN2	停止中	
+詳細設定	LAN3	停止中	
(+*/===)2	LAN4	通信中(100Mbps全二重)	
	ハードウェア状態	正常	
* 10148	[\$120 r 4 3:5KE40]		
	■アクセスポイト/24GHz)		
	MISST ANJERS	福信中	
	動作モード	TEEE802.11b/m/n 互換	
	使用チャネル	11(自動設定)	
	拡張チャネル	7(自動設定)	
	■アクセスポイント(5GHz)	(Caster)	
	無線LAN状態	通信中	
	動作モード	IEEE802.11acin/a互換	
	使用チャネル	52(自動設定)	
	拡張チャネル	56,60,64(自動設定)	
	【無線LAN情報(SSID-1)】	۲.	
	間波数帯	2.4GHz	*

● 参照 BBIQ光電話無線ルータ設定画面の開き方は、「BBIQ光電話無線ルータ 設定画面を開く」(33ページ)をご覧ください。

2 左のメニューから「機器設定用パスワードの変更」をクリックする

-	トップページ > メンテナンス > 機器設定用バスワードの変更		
BBIQ	機器設定用パスワードの変更		<u>ANJ</u> ?
	【機器設定用パスワード】		
ビビック	現在のバスワード		
XS-5A-01	新しいパスワード		
	新しいパスワードの確認入力		
6.000	設定	·	
+トップ			
+ 無線設定			
+ 詳細設定			
マクテキンク ・ 最濃濃を用パスワードの変更 ・ の定価の初期化 ・ の定価の初期化 ・ り加減フスト ・ 地域新衣動 ・ インターネット用PPPaE損益状態 + 情報			

3 各項目を入力し、「設定」をクリックする

機器設定用パスワードに設定できる文字数は最大32文字です。 パスワードには1文字以上32文字以下の半角英数文字を使用することができます。 (¥'^{*}?&%=:;@/を除く) なお、大文字と小文字は区別されます。

空白にすることはできません。またスペースのみを設定することもできません。



●入力したパスワードは、本製品の設定に必要となりますので、忘れないようにお控えください。パスワードを忘れた場合は、装置の初期化が必要になります。

4 「正常に処理が完了しました」と表示されたら、「OK」をクリッ クする



「機器設定用パスワードの変更」が再度表示されます。

-	トップページ > メンテナンス > 機器設定用バスワードの変更	
BBIQ	機器設定用パスワードの変更	<u>~ut</u> ?
	【機器設定用バスワード】	
ビビック	現在のバスワード	
XS-5A-01	新しいパスワード	
	新しいバスワードの確認入力	
0.000	設定	
+トップ		
+ 無線設定		
+ 詳細設定		
- メンテナンス		
・機器設定用バスワードの変更 ・設定値の保存&復元 ・設定値の初期化		
 Pingテスト 機器再起動 インターネット用PPPoE接続状態 		

「再起動する

本製品を再起動する方法を説明します。

ご利用のブラウザを起動して、BBIQ光電話無線ルータ設定画面を開き、左のメニューから「メンテナンス」をクリックする

	トップページ> トップ> 現在の状態		
BBIO	現在の状態		ANJ ?
ビビック	【機器状態情報】		
	■PPPO 状態		
	接続状態	接続	
	WAN側IPアドレス	10.3.1.106	
	■リンク状態		
	WAN	通信中(100Mbps全二重)	
+トップ	LAN1	停止中	
+ 無線設定	LAN2	停止中	
+ 詳細設定	LAN3	停止中	
+ */===	LAN4	通信中(100Mbps全二重)	
	ハードウェア状態	正常	
· ID TK			
	【無線LAN情報】		
	■アクセスボイント(2.4GHz)	M =	
	無線LAN状態	通信中	
	動作モード	IEEE802.11b/g/n互换	
	使用チャネル	11(自動設定)	
	拡張チャネル	7(自動設定)	
	■アクセスボイント(5GHz)		
	無線LAN状態	通信中	
	動作モード	IEEE802.11ac/n/a互換	
	使用チャネル	52(自動設定)	
	拡張チャネル	56,60,64(自動設定)	
	【無線LAN情報(SSID-1)】		
	周波数带	2.4GHz	

● 参照 BBIQ 光電話無線ルータ設定画面の開き方は、「BBIQ光電話無線ルータ 設定画面を開く」(33ページ)をご覧ください。

2 左のメニューから「機器再起動」をクリックする

~	トップページ > メンテナンス > 機器再起動	
BBIO	機器再起動	<u>~uz</u> ?
	本装置を再起動すると、通信が切断されます。	
X8.54.01	【再起動】 本装置の再起動を行う場合は、[再起動]ボタンをクリックしてください。	
ファームウェア パージョン	再起動	
8.00001		
+トップ		
+ 羔祿設定 + 詳細設定		
- メンテナンス ・ 機器設定用パスワードの変更		
- 設定値の保存& 復元 - 設定値の初期化		
·機器再起動		

4 内容を確認の上、「OK」をクリックする

Web ページからのメッセージ
ア 再起動を実行してよろしいですか?
OK キャンセル

以下のメッセージが表示され、再起動が行われます。そのままお待ちください。

再起動中 本装型の再起動を実行中です。3分ほどお得ちください。

以下の画面が表示されれば、再起動は完了です。 「再表示」をクリックします。

再起動完了	
(再表示)茶タンをクリックしたあと、本装置にアクセスできなくなる場合がありますので、その場合は、Webプラウザを一度終了し、撮話する端末と本装置の設定をあわ さなおしてください。	>せたあと、Webブラウザを開
再表示	

トップページ > トップ > 現在の状態			
BBIO	現在の状態		<u>~#7</u> ?
EEy7	【機器状態情報】		
	■PPPの 状態		
	报続状態	攘続	
	WAN側IPアドレス	10.3.1.106	
	■リンク状態		
	WAN	通信中(100Mbps全二重)	
+トップ	LAN1	停止中	
+ 無線設定	LAN2	停止中	
+ 詳細設定	LAN3	停止中	
+ \$1/7 + 1/7	LAN4 通信中(100Mbps全二重)		
- 桔奶	ハードウェア状態	正常	
* 10 TK	F by Ster		
	「黒柳JAN府報」		
	■アンビス小イント(2.4GHZ)	1/man	
	無線LAN状態 抽像工	通信中 	
		IEEE802.116/g/m 豆 换	
	使用ナヤイル	11(目動設定)	
	1.5.またやイル	/(目刻設定)	
	■アクセスホインド(SGHz)	19 AL 14	
	mw.LANIAS	JE18 4	
		ILEEE302.11ac/n/a在·探	
	使用ナヤイル	22(目影設定)	
	しいまナヤイル	[[20,00,04(BBUBEE)	
	【無線LAN情報(SSID-1)】		
	周波数帯	2.4GHz	~
	7		

BBIQ光電話無線ルータ設定画面のトップが表示されます。

初期化する

本製品をお届け時の状態に初期化する方法を説明します。

●初期化を行うと、お客さまが本製品に設定した情報がすべて削除されます。設定情報を あとから復元したい場合は、「設定を保存・復元する」(78ページ)をご覧いただ き、あらかじめ設定情報を保存してください。

本製品を初期化する方法(BBIQ光電話無線ルータ設定画面から初期化する)

BBIQ 光電話無線ルータ設定画面から、本製品の初期化を行う方法を説明します。

● 参照 機器設定用パスワードを忘れてしまった場合など、BBIQ 光電話無線ルータ設定 画面へログインできない場合は、「本製品を初期化する方法(本体の初期化ボタ ンから初期化する)」(77 ページ)をご覧ください。

ご利用のブラウザを起動して、BBIQ光電話無線ルータ設定画面を開き、左のメニューから「メンテナンス」をクリックする

	トッブページ > トップ > 現在の状態		
BRID	現在の状態		<u>~u7</u> ?
ビビック	【機器状態情報】		
	■PPPの 状態		
	接続状態	拖続	
	WAN側IPアドレス	10.3.1.106	
	コリンク状態	54	
	WAN	通信中(100Mbps全二重)	
+トップ	LANI	停止中	
+ 無線設定	LAN2	停止中	
+ 詳細設定	LAN3	停止中	
キャテキンフ	LAN4	通信中(100Mbps全二重)	
		正常	
* 101.10			
	【無線LAN情報】		
	■アクセスボイント(2.4GHz)		
	無線LAN状態	通信中	
	動作モード	IEEE802.11b/g/n 互換	
	使用チャネル	11(自動設定)	
	拡張チャネル	7(自動設定)	
	■アクセスポイント(5GHz)		
	無線LAN状態	通信中	
	動作モード	IEEE802.11ac/n/a互換	
	使用チャネル	52(自動設定)	
	拡張チャネル	56,60,64(自動設定)	
	【無線LAN情報(SSID-1)】		
	周波数帯	2.4GHz	~

● 参照 BBIQ光電話無線ルータ設定画面の開き方は、「BBIQ光電話無線ルータ 設定画面を開く」(33ページ)をご覧ください。

2 左のメニューから「設定値の初期化」をクリックする

(トップページ> メンテナンス> 設定値の初期化
(BBIQ)	設定値の初期化
FFW7	設定値の初期化を実行すると、本装置が再起動します。
XS-5A-01 ファームウェア バージョン	(無線ルータ快定初期)(1) 無線ルータ設定を工場出現時設定状態に買す場合は、(無線ルータ設定の初時化)ボタンをクリックしてください。 無線ルータ設定の初時化。
+ トップ + 茶線設定 + 詳細設定 	(サービス設定事数)構 サービス設定を更新する場合は、(サービス設定の再取得)ポタンをクリックしてください。 サービス設定の再取得
・機器設定用パスワードの変更 ・設定面の初期化 ・調査の ・機器再足動 ・インターネット用PPPoE接続状態	

3

「無線ルータ設定の初期化」をクリックする

-	トップページ > メンテナンス > 設定値の初期化
BBIO	設定値の初期化
FFW7	設定値の初期化を実行すると、本装置が再起動します。
X8-5A-01	【無線ルータ設定初期化】 <u>無線ルータ設定を工場出荷</u> 時設定状態に戻す場合は、「無線ルータ設定の初期化」ボタンをクリックしてください。
ファームウェア パージョン	無線ルータ設定の初時化
+ bw 7	【サービス設定再取得】
・1 フラ + 無線設定	サービス設定を更新する場合は、「サービス設定の再収得」ホタンをシリッシしてたさい。 サービス設定の再取得
+ iF#曲設正 - メンテナンス	
 ・機器酸定用パスワードの変更 ・設定値の採存を復元 ・設定値の採存を復元 ・設定値の初期化 ・Pingテスト ・ 後器春記動 ・ インターネット用PPPoE接続状態 	

▶ 参照 「サービス設定の再取得」についてはヘルプをご覧ください。

4 内容を確認の上、「OK」をクリックする



以下のメッセージが表示され、再起動が行われます。そのままお待ちください。

以下の画面が表示されれば、再起動は完了です。 「再表示」をクリックします。

再起動完了	1	,
ー 本装置の再起動が完了しました。[再表示ボダンをクリックしてください。		
(再表示TFFクッをクリックしたあと、本装置にアクセスできなくなる場合がありますので、その場合は、Webプラウザを一度終了し、撮話する端末と本装置の設定をあわせたあと、Webプラウザを打 さなおしてください。	用	
再表示		

BBIQ光電話無線ルータ設定画面のトップが表示されます。

	トップページ > トップ > 現在の状態		
(BRID	現在の状態		<u>AUZ ?</u>
BBIQ			
ビビック	【機器状態情報】		
	■PPPの 状態		
	接続状態	接続	
	WAN側IPアドレス	10.3.1.106	
	■リンク状態		
	WAN	通信中(100Mbps全二重)	
+トップ	LANI	停止中	
+ 無線設定	LAN2	停止中	
+詳細設定	LAN3	停止中	
・シテキンフ	LAN4	通信中(100Mbps全二重)	
+ > > > > > > > > > > > > > > > > > > >	ハードウェア状態	正常	
* 11) TX			
	【無網LAN情報】		
	■アクセスボイント(2.4GHz)		
	無線LAN状態	通信中	
	動作モード	IEEE802.11b/g/n互换	
	使用チャネル	11(自動設定)	
	拡張チャネル	7(自動設定)	
	■アクセスボイント(5GHz)		
	無線LAN状態	通信中	
	動作モード	IEEE802.11ac/n/a互換	
	使用チャネル	52(自動設定)	
	拡張チャネル	56,60,64(自動設定)	
	For film a public interaction as 1		
	【煮線LAN情報(SSID-1)】	Ma	
	周波叙帝	2.4GHz	

本製品を初期化する方法(本体の初期化ボタンから初期化する)

本製品前面の「初期化ボタン」を押して初期化する方法を説明します。

本製品前面の電源ランプが緑点灯していることを確認する

補足 電源を入れ直した場合や、電源を入れた直後の場合は、40 秒ほどお待ちください。

2 本製品の前面にある初期化ボタンをつまようじや竹串のような先の細い棒状のもので押したまま、再起動ボタンを1回押す

補足

初期化ボタンは押し続け、全ランプが点灯したら離してください。 緑点灯するまで4秒程度かかります。



何秒か経過した後、本製品の前面の電源を除く全ランプが一斉に緑点滅したあと、 電源ランプが緑点灯したら初期化は完了です。

補足 ●電源がオフの状態で初期化する場合 本製品の前面にある初期化ボタンを押したまま、電源をオンにします。初期 化ボタンは押し続け、電源を除く全ランプが一斉に緑点滅したら離してくだ さい。

●機器設定用パスワードをお忘れになった場合など、BBIQ 光電話無線ルータ設定画面に ログインできない場合に、本機能をご利用ください。無線ルータの設定を初期状態に戻 す場合は、「本製品を初期化する方法(BBIQ 光電話無線ルータ設定画面から初期化す る)」(74ページ)をご覧ください。

●初期化を行うと、お客さまが本製品に設定した情報がすべて削除されます。設定情報を あとから復元したい場合は、「設定を保存・復元する」(78 ページ)をご覧いただ き、あらかじめ設定情報を保存してください。

設定を保存・復元する

本体の設定を保存・復元する方法について説明します。 本製品の初期化を行う前に設定情報を保存しておけば、あとから設定を復元することがで きます。

設定を保存する方法

ご利用のブラウザを起動して、BBIQ光電話無線ルータ設定画面を開き、左のメニューから「メンテナンス」をクリックする

	トップベージ > トップ > 現在の状態		
BBIQ	現在の状態		<u>~ルブ</u> ?
ビビック	【機器状態情報】		
	■PPPの 状態		
XS-5A-01	接続状態	搬統	
	WAN側IPアドレス	10.3.1.106	
	■リンク状態		
	WAN	通信中(100Mbps全二重)	
トップ	LANI	停止中	
無線設定	LAN2	停止中	
詳細設定	LAN3	停止中	
シテナ/フ	LAN4	通信中(100Mbps全二重)	
	ハードウェア状態	正常	
	【 無線LAN情報】 ■アクセスポイント(2.4GHz)		
	無線LAN状態	通信中	
	動作モード	IEEE802.11b/g/n互换	
	使用チャネル	11(自動設定)	
	拡張チャネル	7(自動設定)	
	■アクセスボイント(5GHz)		
	無線LAN状態	通信中	
	動作モード	IEEE802.11ac/n/a互換	
	使用チャネル	52(自動設定)	
	拡張チャネル	56,60,64(自動設定)	
	【無線LAN情報(SSID-1)】		
	周波数帯	2.4GHz	

● 参照 BBIQ光電話無線ルータ設定画面の開き方は、「BBIQ光電話無線ルータ 設定画面を開く」(33ページ)をご覧ください。

2 左のメニューから「設定値の保存&復元」をクリックする

-	トップページ > メンテナンス >	> 設定値の保存&復元		
BBIO	設定値の保存&復	元		<u>AUJ</u> ?
「おおいの」				
	【設定値の保存】			
	ファイルに保存			
	【設定値の復元】			
	設定ファイル		参照	R
+トップ	パスワード	•••••		
+ 無線設定 + 詳細設定	設定値の復元			
- メンテナンス				
 日朝田市会報: - コイン・ローマの第一 ・・ ・・				
+ N546				

「ファイルに保存」をクリックする 3

設定ファイルを任意の場所へ保存してください。

ここではInternet Explorer 11を利用してデスクトップにファイルを保存します。

-	トップページ > メンテナンス > 設定値の保存も復元				
BBIO	設定値の保存&復元			<u>AUZ</u> ?	
	[設定値の復元]を実行すると、通	股定値の復元]を実行すると、通信が切断されることがあります。			
	【語完備の保存】				
XS-5A-01	ファイルに保存				
	【設定値の復元】				
	設定ファイル		参照		
+トップ	パスワード	•••••			
+ 無線設定 + 詳細設定	設定値の復元				
 ・ 大シティナンス ・ 検索器法定用バスワードの変更 ・ 設定値の初期化 ・ 設定値の初期化 ・ Piag-7スト ・ 機器系記動 ・ インターネット用PPPoE接続状態 ・ 抗約 					

「保存」の「▼」をクリックし、「名前を付けて保存」をクリック 4 する

192.168.0.1 から 20150824XS-5A-01.config (2.16 MB) を聞くか、または保存しますか?				保存(S) 名前を付けて保存(A)
	ファイルを聞く(0)	保存(S)	•)	保存して開く(0)

5

「デスクトップ」を選択し、「保存」をクリックする

2	名前を付けて保存	ž	×
	デスクトップ >	 ・ ・ ・	م
整理 ▼ 新しいフォ	าเ/ダー		ur • @
☆ お気に入り ダウンロード デスクトップ 10 最近表示した場け	↑ ボームグループ 新 」2 user		^
・◎ ホームグループ ● PC ● ネットワーク	PC		
÷ 1717 7	~		¥
ファイル名(N): 2	20150824- XS-5A-01.config		~
ファイルの種類(工): >	KML Configuration File (*.config)		~
🍝 フォルダーの非表示		保存(<u>S</u>)	キャンセル

6 デスクトップに設定ファイルが保存されたことを確認する これで設定を保存する方法は完了です。

設定を復元する方法

ご利用のブラウザを起動して、BBIQ光電話無線ルータ設定画面 を開き、左のメニューから「メンテナンス」をクリックする

~	トップページ > トップ > 現在の状態		
BBIO	現在の状態		<u>ANJ ?</u>
בבשס	【機器状態情報】		
	■PPPの 状態		
	接続状態	接続	
	WAN側IPアドレス	10.3.1.106	
	■リンク状態		
	WAN	通信中(100Mbps 全二重)	
+トップ	LAN1	停止中	
+ 無總設定	LAN2	停止中	
+ 詳細語完	LAN3	停止中	
Concentral 2	LAN4	通信中(100Mbps 全二重)	
	ハードウェア状態	正常	
+ 1H 402			
	【無線LAN情報】		
	■アクセスボイント(2.4GHz)		
	無線LAN状態	通信中	
	動作モード	IEEE802.11b/g/n 互換	
	使用チャネル	11(自動設定)	
	拡張チャネル	7(自動設定)	
	■アクセスボイント(5GHz)		
	無線LAN状態	通信中	
	動作モード	IEEE802.11ac/n/a互換	
	使用チャネル	52(自動設定)	
	拡張チャネル	56,60,64(自動設定)	
	【無線LAN情報(SSID-1)】		_
	周波数帯	2.4GHz	V
a			

● 参照 BBIQ光電話無線ルータ設定画面の開き方は、「BBIQ光電話無線ルータ 設定画面を開く」(33ページ)をご覧ください。

2 左のメニューから「設定値の保存&復元」をクリックする

~	トップページ > メンテナンス > 🕯	設定値の保存を復元				
BBIO	設定値の保存&復元				<u>ANJ ?</u>	
	[設定値の復元]を実行すると、通信が切断されることがあります。					
	【設定値の保存】					
XS-5A-01	ファイルに保存					
ファームウェア パージョン	【設定値の復元】					
	設定ファイル			参照		
+トップ	パスワード	•••••				
+ 無線設定 + 詳細設定	設定値の復元					
- メンテナンス						
 ・設定値の保存&後元 ・設定値の保存&後元 ・Phugテスト ・提請再定物 ・インターネット用PPPoE接続状態 ・ポ活 ・行 ・行 ・行						

「参照(または「ファイルを選択」)」をクリックする 3 トップページ > メンテナンス > 設定値の保存&復元 BBIO -【設定値の復元】を実行すると、通信が切断されることがあります ビビック 【設定値の保存】 ファイルに保存 【設定値の復元】 設定ファイル 参照.... +トップ + 無線設定 設定値の復元 + 詳細設定 - ポンテナンス メノテナンス ・ 機器設定用パスワードの変更 ・ 設定値の保存を復元 ・ 設定値の初期化 ・ Phag フト ・ 健認再起動 ・ インターネット用PPPoE 指続状態 皆行

4 保存したファイルを選択し、「開く」をクリックする



5 「設定値の復元」をクリックする

	トップページ > メンテナ	シス > 銀定値の保存&復元	
BBIO	設定値の保存る	& 復元	<u>~ut</u> ?
FFw7	- [設定値の復元]を実行す	すると、通信が切断されることがあります。	
	【設定値の保存】		
X8-5A-01	ファイルに保存		
	【設定値の復元】		
	設定ファイル	C:\Users\user\Desktop\20150824XS-5A-01.config	参照
+トップ	パスワード	••••••	
+ 無線設定 + 詳細設定	設定値の復元		
- ・ 機器設定用 1スワードの変更 設定値の保存 4 復元 - 設定値の初期化 - Phag * 7本 - 機器再起動 - インターネット用 PPP a E 接続 状態			

●パスワード欄には現在のパスワードが設定されていますが(●で表示されます)、現在のパスワードが復元するファイルを保存した時のパスワードと異なる場合は、復元するファイルを保存した時のパスワードをパスワード欄に入力してから「設定値の復元」をクリックしてください。

内容を確認の上、「OK」をクリックする 6



以下のメッセージが表示され、再起動が行われます。そのままお待ちください。

本装置の設定値を復元中です。3分ほどお待ちください。

以下の画面が表示されれば、再起動は完了です。 「再表示」をクリックします。

本装置の再起動が完了しました。[再表示]ボタンをクリックしてください。 (再表示)ボダンをクリックしたあと、本装置にアクセスできなくなる場合がありますので、その場合は、Webブラウザを一度終了し、接続する端末と本装置の設定をあわせたあと、Webブ 発展物なわしてください。 再表示

BBIQ光電話無線ルータ設定画面のトップが表示されます。

	トップページ >トップ > 現在の状態		A
(DDIO)	現在の状態		A 11 ≠ ?
(BRIÚ)			
7	F #8.00 42:06 AB 401		
2235	■PPP① 状態		
XS-5A-01	接続状態	播続	
	WAN側IPアドレス	10.3.1.106	
	「リンク状態		
	WAN	通信中(100Mbps全二重)	
+トップ	LANI	停止中	
+ 無線設定	LAN2	停止中	
+詳細設定	LAN3	停止中	
	LAN4	通信中(100Mbps全二重)	
+ 15:46	ハードウェア状態	正常	
- 10 16	Fair offer a section of		
	L黒柳LAN田祝」		
	MERT ANTERS	(美作中	
	phttle LAN OUTS 動作工 LN	1日日中 TEEE202 115/m/n 万括	
	(#用千++之)).	11(自動設定)	
	1000000000000000000000000000000000000	7(自動設定)	
	 アクセスポイント(5GHz) 	(Caster)	
	無線LAN状態	通信中	
	動作モード	IEEE802.11ac/n/a互換	
	使用チャネル	52(自動設定)	
	拡張チャネル	56,60,64(自動設定)	
	0	n	
	【無線LAN情報(SSID-1)】	м	
	周波数帯	2.4GHz	*

おしらせ・・・・・・

●「設定値の復元」をクリックすると、現在、本製品に設定されている値が、保存してい た設定内容で上書きされます。

「パソコンを有線接続する場合

お手持ちのパソコンを本製品の背面にある LAN1 ポートから LAN4 ポートのどれかに接 続するだけでインターネットを利用できます。

- 本製品前面の光ネットランプが緑点灯していることを確認する
- 2 本製品背面のLANポート(LAN1ポートからLAN4ポートのどれ か)と、パソコンをLANケーブルで接続する
- 3 接続したLANポートのリンクランプが緑点灯していることを確認 する
- **4** ブラウザを起動する

インターネット上のホームページが開けたら完了です。

 「参照 パソコンのネットワーク設定によってはインターネットに接続できない 場合があります。詳細は「インターネットに接続できない」(111 ページ)をご覧ください。

パソコンを無線接続する場合

お手持ちのパソコンを無線で接続する方法を説明します。

■ 自動で無線接続する(WPS)

本製品は、パソコンやゲーム機を安全でかんたんに無線接続できる WPS 機能があります。

● [WPS] とは?

WPS とは、無線 LAN の設定をかんたんに行うことができる機能です。 WPS には、以下の方法があります。 ・本製品背面の「WPS」ボタンを押して設定する方法 ・「PIN コード」を入力する方法 ここでは、「WPS」ボタンを押して設定する方法を説明します。

● 参照 「PIN コード」を利用した設定方法は、BBIQ 無線設定の「無線 LAN 簡単設定」 のヘルプをご覧ください。

- (補定) ●設定の際、本製品と設定する無線 LAN 端末(パソコン・スマートフォンなど) は近くに置いた状態で設定してください(目安 1m 程度)。
 - ●WPS で設定を行うには、接続する無線 LAN 子機も WPS に対応している 必要があります。無線 LAN 子機が無線設定 WPS (プッシュボタン方式)を サポートしていない場合は、無線 LAN セキュリティ情報をパソコンに手入 力する方法が利用できます。本製品の側面に貼付された装置情報ラベルに記 載している、無線 LAN セキュリティ情報 (SSID と暗号化キー)を設定して ください。詳細な操作方法については、無線 LAN 子機の取扱説明書などを 参照してください。
 - ●本製品で「無線ネットワーク名(SSID)の隠蔽(ANY 接続拒否)」を「する」 に設定すると、WPS での無線設定に失敗します。WPS での設定時は、「する」 のチェックをはずしてください。
 - ●WPS で無線 LAN の設定を行っている間は、通信・通話の切断や再起動を伴うことがあります。

設定変更を行う場合は、通信や通話を終了してから行ってください。

●本製品で「MAC アドレスフィルタリング」を有効にしている場合、接続す る端末の無線 LAN 子機の「MAC アドレス」が登録されていないと、子機に よっては WPS での無線設定ができない場合があります。

パソコンに内蔵の無線 LAN 子機を利用した場合の、「WPS」ボタンを押して設定する方法を説明します。

☞ 参照 ご利用のOSを確認し、該当のページに進んでください。

- Windows 8 / 8.1の場合、84 ページ
- Windows 7の場合、88 ページ

● Windows 8 / 8.1 の場合

] 「スタート」画面から「デスクトップ」をクリックする



2 画面右上隅または右下の隅にマウスのカーソルを移動する





3 右側にメニューが表示されるので、「設定」をクリックする

4 「利用可能」をクリックする



5 一覧から本製品のネットワーク名(SSID)をクリックし、「接続」 をクリックする



 ●お届け時のネットワーク名(SSID)は、本製品の側面に貼付された 装置情報ラベルで確認できます。
 ●本書巻末の SSID メモ欄に SSID をメモしておいてください。

6 本製品背面の「WPS」ボタンを押し続け、無線ランプが橙点滅し たら指を離す



7 本製品の無線ランプが緑点灯になったことを確認する





これでパソコンを無線接続する場合の操作は完了です。

●無線接続に失敗した場合は、無線ランプが赤点滅します。手順1.からやり直しても失敗 する場合は、子機の取扱説明書などを参照して、本製品のネットワーク名(SSID)と 暗号化キーを設定してください。

● Windows 7 の場合





2

「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックする



З

「ネットワークに接続」をクリックする



4 一覧から本製品のネットワーク名(SSID)を選択し、「接続」を クリックする



補足 ●お届け時のネットワーク名(SSID)は、本製品の側面に貼付された 装置情報ラベルで確認できます。

5 「ネットワークに接続」の画面が表示されることを確認する



90





これでパソコンを無線接続する場合の操作は完了です。

● 無線接続に失敗した場合は、無線ランプが赤点滅します。 手順 1. からやり直しても失敗 する場合は、子機の取扱説明書などを参照して、本製品のネットワーク名(SSID)と 暗号化キーを設定してください。

■手動で無線接続する

「無線ネットワーク名(SSID)の隠蔽(ANY 接続拒否)」を利用して、本製品のネットワーク名(SSID)を隠している場合は、ここで説明している方法で設定を行ってください。

Windows をご利用の場合

🖝 参照	ご利用のOSを確認し、	該当のページに進んでください。

- Windows 8 / 8.1の場合、92ページ
- Windows 7の場合、98 ページ
- MacOSの場合、103 ページ

● 無線 LAN 設定方法(Windows 8 / 8.1)

| 「スタート」画面から「デスクトップ」をクリックする

スタート			user 🐣
x-#	Internet Explores 2157	~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~~	
n1->9-	No. 100	22-947 7X7	
People			
₩₽ 7-F&6542	₹ ₩-		
	216-9		
terioxe			

2 画面右上隅または右下の隅にマウスのカーソルを移動する





3 右側にメニューが表示されるので、「設定」をクリックする



7 「ワイヤレスネットワークに手動で接続します」を選択し、「次へ」 をクリックする



8 「ネットワーク名」に本製品のネットワーク名(SSID)を入力する

					×
€	🗐 ワイヤレス ネットワークに手重	かで接続します			
	追加するワイヤレス ネットワー	クの情報を入力します			
	ネットワーク名(E):	10.00.00.000.000.0	\supset		
	セキュリティの種類(S):	WPA2-パーソナル	*		
	暗号化の種類(<u>R</u>):	AES	$\mathbf{\vee}$		
	セキュリティ キー(<u>C</u>):	(Sighteen	□ 文字を非表示にする(日)	
	☑ この接続を自動的に開始します □ ネットワークがブロードキャストを 蓄告: 選択すると、このコンピューターの	「(工) 行っていない場合でも接続する(Q) Dプライバシーが危険にさらされる可) 能性があります。		
			次へ(N)	キャン	セル

補足)

お届け時のネットワーク名(SSID)は、本製品の側面に貼付された装 置情報ラベルで確認できます。 9 「セキュリティの種類」および「暗号化の種類」のプルダウンメ ニューから、本製品に設定されたセキュリティの種類を選択する

📀 🔮 ワイヤレス ネットワークに	手動で接続します
追加するワイヤレス ネット	ワークの情報を入力します
ネットワーク名(E):	10.00.00.00.00000.0
セキュリティの種類(S):	WPA2-パーソナル v
暗号化の種類(<u>R</u>):	AES V
セキュリティ キー(<u>C</u>):	□ 文字を非表示にする(出)
☑ この接続を自動的に開始 □ ネットワークがブロードキャフ 警告: 選択すると、このコンピュー	します(I) いそ行っていない場合でも接続する(Q) ターのプライバシーが危険にさらされる可能性が多ります。
	次へ(N) キャンセル
補足しお届け	時は以下のように設定されていま

す。 セキュリティの種類→「WPA2-パーソナル」 暗号化の種類→ 「AES |

1○「セキュリティ キー」に本製品の暗号化キーを入力する

🕤 🗐 ワイヤレス ネットワーク(こ手動で接続します	
追加するワイヤレス ネッ	トワークの情報を入力します	r
ネットワーク名(트):	10.00.00.00001	
セキュリティの種類(ら):	WPA2-パーソナル	~
暗号化の種類(<u>R</u>):	AES	~
セキュリティ キー(<u>C</u>):	(Sight-here)	□文字を非表示にする(出)
☑ この接続を自動的に開め □ ネットワークがブロードキャ 警告: 選択すると、このコンビュ	はします(I) ・ストを行っていない場合でも接続す ーターのプライバシーが危険にさらされ	る(<u>Q)</u> 1る可能性が効ります。
		次へ(N) キャンセル

補足)お届け時の暗号化キーは、本製品の側面に貼付された装置情報ラベルで 確認できます。

1]「無線ネットワーク名(SSID)の隠蔽(ANY接続拒否)」を利用している場合は、「ネットワークがブロードキャストを行っていない場合でも接続する」にチェックを入れ、「次へ」をクリックする

			-	
	ヤレス ネットワークに手重	かで接続します		
追加す	るワイヤレス ネットワー	クの情報を入力します		
ネットワー	ク名(E):	100.00.00.000.000.0		
セキュリテ	ィの種類(5):	WPA2-パーソナル	¥	
暗号化の	/種類(<u>R</u>):	AES	\vee	
セキュリテ	∢ ≑−(<u>C</u>):	sentening/22	□ 文字を非表示にする(日	
	の接続を自動的に開始します いトワークがブロードキャストを 載択すると、このコンピューター(「(工) 行っていない場合でも接続する(<u>Q</u>) カプライバシーが危険にさらされる可!	能性があります。	
				キャンセル

(補定)「この接続を自動的に開始します」にチェックを入れておくと、自動的に 接続が行われます。

12「正常に "〇〇〇(入力したネットワーク名) " を追加しました」 と表示されたことを確認し、「閉じる」をクリックする

	-	• ×
● 🔮 ワイヤレス ネットワークに手動で接続します		
正常に「「「「」」」「「」」「「」」を追加しました		
参 接続の設定を変更します(H) 接続のプロパティを開き、設定を変更します。		
	C	MUS

「アクティブなネットワークの表示」で、入力したネットワーク名に「接続」と表 示されていれば、設定は完了です。



● 無線 LAN 設定方法(Windows 7)





「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックする



3

「新しい接続またはネットワークのセットアップ」をクリックする



4 「ワイヤレス ネットワークに手動で接続します」を選択し、「次へ」 をクリックする



5 「ネットワーク名」に本製品のネットワーク名(SSID)を入力す る

🕑 <u>1</u> 74'	ァレス ネットワークに手頭	めで接続します		×
追加する	ワイヤレス ネットワーク	の情報を入力します		
ネットワ	ーク名(<u>E</u>):	10101-01020-011)	
セキュリ	ティの種類(<u>S</u>):	WPA2-パーソナル	•	I
暗号化の	種類(<u>R</u>):	AES	·	
セキュリ	ティ キー(<u>C</u>):	Ciphyleng	文字を非表示にす	る(土)
VZ	の接続を自動的に開始し	ます(工)		
<u></u>	ットワークがブロードキ・	ャストを行っていない場合でも扱	競技する(⊇)	
警告: 道	訳すると、このコンピュ	ーターのプライバシーが危険にさ	さらされる可能性があり)ます。
			次へ(N)	キャンセル

補足 お届け時のネットワーク名(SSID)は、本製品の側面に貼付された装 置情報ラベルで確認できます。

6 「セキュリティの種類」および「暗号化の種類」のプルダウンメ ニューから、本製品に設定されたセキュリティの種類を選択する

	_ _ ×
💮 🖻 ワイヤレスネットワーク	に手動で接続します
追加するワイヤレス ネットワ	ークの情報を入力します
ネットワーク名(트):	2010/01/02/2011
セキュリティの種類(<u>S</u>):	WPA2-パーソナル・
暗号化の種類(民):	AES
セキュリティ キー(<u>C</u>):	文字を非表示にする(出)
☑ この接続を自動的に開	らします(工)
□ ネットワークがブロー	ドキャストを行っていない場合でも接続する(<u>0</u>)
暫告: 選択すると、このコン	ピューターのプライバシーが危険にさらされる可能性があります。
	次へ(N) キャンセル

補足 お届け時は以下のように設定されています。
 セキュリティの種類→「WPA2-パーソナル」
 暗号化の種類→「AES」

「セキュリティ キー」に本製品の暗号化キーを入力する 7

O	前 ワイヤレス ネットワークに手	動で接続します	
	追加するワイヤレス ネットワーク	7の情報を入力します	
	ネットワーク名(<u>E</u>):	2010/01/02/02/14	
	セキュリティの種類(<u>S</u>):	WPA2-パーソナル	
	暗号化の種類(<u>R</u>):	AES	
	セキュリティ キー(<u>C</u>):	(xyzexhand) (文字を非表示にする	(<u>H</u>)
	☑ この接続を自動的に開始し	ます(I)	
	ネットワークがブロードキ	ャストを行っていない場合でも接続する(<u>O</u>)	
	警告: 選択すると、このコンピュ	ーターのプライバシーが危険にさらされる可能性がありま	す。
		次へ(N)	キャンセル

補足)お届け時の暗号化キーは、本製品の側面に貼付された装置情報ラベルで 確認できます。

8 「無線ネットワーク名(SSID)の隠蔽(ANY接続拒否)」を利用 している場合は、「ネットワークがブロードキャストを行っていな い場合でも接続する」にチェックを入れ、「次へ」をクリックする

💮 🕺 ワイヤレス ネットワークに	手動で接続します
追加するワイヤレス ネットワー	クの情報を入力します
ネットワーク名(트):	10-0-0-020-0
セキュリティの種類(<u>S</u>):	WPA2-パーンナル・
暗号化の種類(<u>B</u>):	AES
セキュリティ キー(<u>C</u>):	文字を非表示にする(出)
☑ この接続を自動的に開始	します(工)
アン・シュークがブロード マークがブロード	キャストを行っていない場合でも接続する(Q)
警告: 選択すると、このコンピ	ューターのプライバシーが危険にさらされる可能性があります。
	\frown
	<u>次へ(N)</u> キャンセル

補足)「この接続を自動的に開始します」にチェックを入れておくと、自動的に 接続が行われます。

9 「正常に "○○○(入力したネットワーク名)"を追加しました」 と表示されたことを確認し、「閉じる」をクリックする



「ワイヤレスネットワーク接続(入力したネットワーク名)」に「接続」と表示されていれば、設定は完了です。



Mac OS をご利用の場合

● 無線 LAN 設定方法(Mac OS)

Mac OS 10.9 を利用した場合の画面で説明しています。

- ご利用のOSを確認し、該当のページに進んでください。

 Windowsの場合、92 ページ
- 「アップルメニュー()」から「システム環境設定」をクリックする





「ネットワーク」をクリックする

000			システム	環境設定			
	すべてを表示				(2	
en New On New 一般	デスクトップと スクリーンセーバ	Dock	Mission Control		マントレン マントレー	Q Spotlight	〇 通知
	· 省エネルギー	キーボード	גליד	トラックパッド	プリンタと スキャナ	ע זעליל	
iCloud	<i>1</i> ンターネット アカウント	<u>م</u> جىدى	Bluetooth	(1) 共有			
ユーザと グループ	たた メアレンタル ペアレンタル ール	App Store	音声入力と 読み上げ	日付と時刻	2 起動 ディスク	Time Machine	アクセシ ビリティ
Flash Player							

3 左のメニューから「Wi-Fi」をクリックする

「状況」が「入」と表示されていることを確認してください。 「状況」が「切」と表示されている場合は、「Wi-Fi を入にする」をクリックします。



4 「詳細」をクリックする



5

「 + 」をクリックする



6

「ネットワーク名」に本製品のネットワーク名(SSID)を入力す る

 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	ネットワー ク 長示	Q
الله الله الله الله الله الله الله الل	Wi-Fi ネットワークブロファ 油加したいプロファイルの名前と す。 ネットワーク名: セキュリティ: なし ネットワークを選択 キットワークを形式の、	イルを追加します。 セキュリティの種類を入力しま ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・

補足) お届け時のネットワーク名(SSID)は、本製品の側面に貼付された装 置情報ラベルで確認できます。

7 「セキュリティ」のプルダウンメニューから、本製品に設定された セキュリティの種類を選択する



(補足) お届け時は「WPA2 パーソナル」が設定されています。

8 「パスワード」に本製品の暗号化キーを入力し、「OK」をクリッ クする

000	ネットワーク	
▶] すべてを表		Q
令 Wi-Fi 使	Wi-Fi ネットワークブロファ 追加したいプロファイルの名前とす ネットワーク名: セキュリティ: WPA2 パーソ	イルを追加します。 2キュリティの構築を入力しま ナル ÷
· ? • • • • • • • • • • • • • • • • • • •	バスワード: パスワード: ネットワークを選択 キ 盛然を要求:	±表示 ャンセル OK

補足 お届け時の暗号化キーは、本製品の側面に貼付された装置情報ラベルで ご確認できます。

9 「OK」をクリックする

●「使ったことのあるネットワーク」に入力した「ネットワーク名(SSID)」が表 示されていることを確認する。



┃0 「適用」 をクリックする



故障かな?と思ったら

本製品の設置・接続にあたってトラブルが起きたときや、疑問点があるときは、まずこ ちらをご覧ください。

ご確認いただいても改善しない場合は、裏表紙をご覧いただき、お問い合わせください。

- ●該当項目がない場合や、対処をしてもトラブルが解決しない場合は、本製品を初期化し、 はじめから設定し直してみてください。
- 初期化すると、すべての設定が初期値に戻りますので、ご注意ください。初期化する前に、BBIQ 光電話無線ルータ設定画面の「メンテナンス」画面の「設定値の保存&復元」で現在の設定内容を保存すれば、初期化後に同設定画面で復元することができます。

ランプが正常に点灯(消灯)しない

症状	原因と対策		
電源ランプが点灯しない ① ① 電源 ② ② アラーム ③ 光ネット ④ ① 無線2.4G ③ ① 無線5G ③ ⑥ 電話1 □ ⑦ 電話2 □ ⑧ オブション	 電源が入っていない可能性があります。 電源アダプターが外れていたり、電源アダプターが破損していないかを確認してください。 本製品の電源を切ったあと、すぐに入れ直すと電源が入らないことがあります。一度電源アダプターを抜き、10秒程度待ってから、再度電源を入れてください。 別のコンセントに差し込み直してみてください。 		
アラームランプが赤色に点灯 または点滅する □ ① 電源 □ ② アラーム □ ③ 光ネット □ ③ 無線2.46 □ ⑤ 無線56 □ ⑤ 電話1 □ ⑦ 電話2 □ ⑧ オブション	 赤色に点灯する場合 本製品が故障している可能性があります。 一度電源アダブターを抜き、10秒程度待ってから、再度電源を入れてください。 赤色に点滅する場合 インターネットの自動設定に失敗しています。 一度電源アダブターを抜き、10秒程度待ってから、再度電源を入れてください。 配線が間違っていないか確認してください。 		
 光ネットランプが消灯している ① 電源 ② アラーム ③ 光ネット ④ 無線2.46 ⑤ 無線56 □ ③ 電話1 □ ⑦ 電話2 □ ⑧ オブション 	 「インターネット(BBIQ)」のお申し込みが確認できませんでした。 ※本製品の ルータ機能をご利用いただくには、お申し込みが必要です。 お申し込みいただいている場合 配線が間違っていないか確認してください。 一度電源アダブターを抜き、10秒程度待ってから、再度電源を入れてください。 		
症状	原因と対策		
---	---	--	--
 光ネットランプが赤色に点灯または橙色に点滅する ① 電源 ② アラーム ③ 光ネット ④ 無線2.46 ⑤ 無線56 ⑤ 電話1 ③ 電話2 ③ オブション 	 光ネットへの接続に失敗しています。 配線が間違っていないか確認してください。 一度電源アダプターを抜き、10秒程度待ってから、再度電源を入れてください。 		
 無線2.4G・無線5Gのランプが消灯している □ ① 電源 □ ② アラーム □ ③ 光ネット □ ④ 電紙1 □ ③ 電話1 □ ③ 電話2 □ ⑧ オブション 	 光無線ルータ機能のお申し込みが確認できませんでした。 ※本製品の無線ルータ機能をご利用いただくには、お申し込みが必要です。 お申し込みいただいている場合は、一度電源アダプターを抜き、10 秒程度待ってから、再度電源を入れてください。 		
無線2.4G・無線5Gのランフ の片方が消灯している □ ① 電源 □ ② アラーム □ ③ 光ネット □ ④ 無線2.46 □ ⑤ 電話1 □ ⑦ 電話2 □ ⑧ オブション	 無線2.4Gのみ消灯する場合 ※無線5Gは緑色に点灯 本製品の2.4GHz 帯の無線LAN通信が停止しています。 動作させたい場合は、BBIQ光電話無線ルータ設定画面を起動し、「無線設定」→「無線LAN共通設定」をクリックして「IEEE802.11b/g/n (2.4GHz)」にチェックを入れてください。 詳細は、ヘルブをご覧ください。 無線5Gのみ消灯する場合 ※無線2.4Gは緑色に点灯 本製品の5GHZ 帯の無線LAN通信が停止しています。 動作させたい場合は、BBIQ光電話無線ルータ設定画面を起動し、「無線設定」→「無線LAN共通設定」をクリックして「IEEE802.11ac/n/a (5GHz)」にチェックを入れてください。 詳細は、ヘルブをご覧ください。 		
 無線2.4Gのランプが赤色に 点滅する 無線5Gのランプが赤色に点 滅する □ ① 電源 □ ② アラーム □ ③ 光ネット □ ④ 電線2.4G □ ⑤ 無線5G □ ⑥ 電話1 □ ⑦ 電話2 □ ⑧ オブション 	該当の帯域の無線LAN通信と干渉する電波を検出したため、干渉の影響 のないチャネルを自動で探しています。 干渉の影響のないチャネルが見つかり次第、チャネル設定が自動で変更 され、完了するとランプが緑に変わります。ランプが緑に変わらない場 合は、周囲に干渉電波が多いことが考えられるため、本製品の設置場所 を変更するなどで改善する場合があります。 なお、本機能は「使用チャネル」が「自動設定」に設定されている場合 に限り動作します。 ** DFSについては「使用チャネル」が「自動設定」に設定されていなく ても動作します。DFSとは5GHz帯の無線LAN通信が気象レーダーな どに影響を与えないよう、使用する周波数帯を変更する機能です。		

症状	原因と対策		
電話1ランプ・電話2ランプが 消灯している © ① 電源 © ② アラーム © ③ 光ネット © ④ 無線2.46 © ⑤ 無線56 © ⑥ 電話1 © ⑦ 電話2 © ⑧ オプション	BBIQ光電話のご契約が確認できませんでした。 お申し込みいただいている場合 ● 配線が間違っていないか確認してください。 ● 一度電源アダプターを抜き、10秒程度待ってから、再度電源を入れ てください。		
本製品背面のWANポートの LINK/ACTランプが消灯して いる	 回線終端装置と本製品の接続が確認できませんでした。 本製品に接続している回線終端装置やVDSLモデムの電源が入っているか確認してください。 本製品と回線終端装置やVDSLモデムが正しく接続されているか確認してください。LANケーブルをWANポートにカチッと音がするまで接続してください。 *LANケーブルは本製品に付属しているものをご利用いただくことをおすすめします。 本製品の電源アダプターを抜き、10秒程度待ってから、再度電源を入れてください。 		
本製品背面のLANボートの LINK/ACTランプが消灯して いる	 パソコンと正しく接続されていない可能性があります。 ケーブルが正しく接続されているか確認してください。LANケーブルをLANポートにカチッと音がするまで接続してください。 本製品の電源アダプターを抜き、10秒程度待ってから、再度電源を入れてください。 		

インターネットに接続できない

症状	原因と対策		
インターネットに接続できな い	 光ネットランプが緑色に点灯しているか確認してください。 点灯していない場合 配線が間違っていないか確認してください。 一度電源アダプターを抜き、10秒程度待ってから、再度電源を入れてください。 		
ブラウザを起動すると、ダイ ヤルアップ画面が表示される	● ブラウザの設定を変更してください。 変更方法は「● ブラウザの設定(Windows)」(45 ページ)または 「● ブラウザの設定(Mac OS)」(55 ページ)をご覧ください。		
急にインターネットの接続が できなくなった	本製品を再起動することで状況が改善される場合があります。 ● 一度電源アダプターを抜き、10秒程度待ってから、再度電源を入れ てください。 光ネットランプが緑色に点灯していることを確認してから、インター ネットの接続をお試しください。		

インターネットに接続できない(無線)

症状	原因と対策
本製品で無線接続できない	 光ネットランブが緑色に点灯しているか確認してください。 点灯していない場合は、本製品がインターネットへ接続できていません。「ランブが正常に点灯(消灯)しない」(108ページ)の該当 項目をご覧いただき、ランブが正常に点灯する状態にしてください。 無線2.4G・無線5Gのランブが緑色に点灯しているか確認してください。 消灯している場合は、無線ルータ機能のお申し込みが確認できません。「ランブが正常に点灯(消灯)しない」(108ページ)の「無 線2.4G・無線5Gのランブが消灯している」(109ページ)を確認 してください。 接続する無線LAN子機(パソコン・スマートフォンなど)の無線LAN 機能が有効になっているか確認してください。 無線LAN機能は、パソコン本体のスイッチや、キーボードの特定の 操作をすることで有効にできます。 選択したネットワーク名(SSID)または暗号化キーが間違っている 可能性があります。 お届け時のネットワーク名(SSID)および暗号化キーは、本製品側 面に貼付された装置情報ラベルを確認してください。
設定に必要なネットワーク名 (SSID)・暗号化キーが分から ない	お届け時のネットワーク名 (SSID) および暗号化キーは、本製品側面 に貼付された装置情報ラベルで確認してください。 ネットワーク名 (SSID) を任意の値に変更している場合 ● ヘルプをご覧いただき、ネットワーク名 (SSID) を確認してください。 暗号化キーを任意の値に変更している場合 ● ヘルプをご覧いただき、暗号化キーを再設定してください。 ※本製品を初期化すると、お届け時のネットワーク名 (SSID) および 暗号化キーが有効になります。ただし、初期化すると本製品へお客さ まが設定された情報がすべて消去されます。ご注意の上、初期化を行 ってください。

症状	原因と対策		
5GHz帯のネットワーク名 (SSID) が接続する端末側で 表示されない	 無線5Gのランブが緑色に点灯しているか確認してください。 消灯している場合 ● 5GHz帯の無線LAN通信が無効になっています。有効に変更してください。変更方法はヘルプをご覧ください。 緑色に点灯している場合 ● 本製品と無線LAN接続をする端末(パソコン・スマートフォンなど)が5GHz帯の無線LAN通信に対応していない可能性があります。 2.4GHz帯のネットワークをご利用ください。 		
特定の端末(ゲーム機や古い パソコンなど)のみ無線で接 続できない	端末の暗号化モードが本製品お届け時に設定されている「WPA2-PSK (AES)」に対応していない可能性があります。 ●「WEP」などのセキュリティ強度の低い暗号化モードを利用する必要 がある場合は、「SSID-2」を有効にしていただき、パソコンなどが 接続しているネットワークと分けてご利用ください。 「SSID-2」の詳しい説明は、ヘルプをご覧ください。		
SSIDが見つからない (SSID-1/SSID-2/SSID-3)	無線2.4G・無線5Gのランプが緑色に点灯していても、「無線ネットワー ク名(SSID)の隠蔽(ANY接続拒否)」が有効になっているとSSIDが 見つかりません。 ●「無線ネットワーク名(SSID)の隠蔽(ANY接続拒否)」の設定を変 更する方法は、ヘルプをご覧ください。		
本製品と無線LAN端末(パ ソコン・スマートフォンなど) の電波状態が悪い	本製品と無線LAN端末(パソコン・スマートフォン)までの距離が離れ ている可能性があります。 ● 電波の届く範囲まで無線LAN端末を移動したり、本製品と無線LAN 端末の向きを変えるなどして、電波状態を確認してください。 なお、自動的に干渉の少ないチャネルを選択して無線LAN通信を行 うよう設定することができます。詳細はヘルプをご覧ください。		
本製品と無線LAN端末(パ ソコン・スマートフォンなど) の接続が切れて安定しない	デュアルチャネル機能、クワッドチャネル機能(IEEE802.11acのみ) は無線の電波を複数束ねることで、速度を高速化する技術です。 しかし、ご利用の周囲に同帯域を使用する無線LAN機器が多数存在する 場合は、通信が不安定となり、接続が切断されたり、速度が不安定にな る場合があります。 デュアルチャネル機能、クワッドチャネル機能を有効にしていて接続が 安定しない場合は、これらの機能を無効にしてご利用ください。無効に する方法は、ヘルプをご覧ください。		
無線LANで接続すると速度が 遅い	 本製品とは別の無線電波と干渉を起こしている可能性があります。「本製品と無線LAN端末(パソコン・スマートフォンなど)の電波状態が悪い」(112ページ)をご覧ください。 ご利用のパソコン・スマートフォンなどの無線子機で対応している通信規格が、IEEE802.11ac・IEEE802.11nなどの速度の速い規格に対応していない可能性があります。 本製品で対応している規格は、「BBIQ光電話無線ルータが対応している無線規格と速度について」(118ページ)をご覧ください。 		

BBIQ 光電話無線ルータ設定画面が開かない

症 状	原因と対策
「192.168.0.1」と入力して もBBIQ光電話無線ルータ設 定画面が表示されない	 ブラウザの設定を変更してください。 変更方法は「パソコンを設定する」(37ページ)をご覧ください。 本製品背面のLANポートのリンクランプが緑色に点灯・点滅している か確認してください。 LANポートのリンクランプが消灯している場合は、本製品とパソコ ンを接続しているLANケーブルを一度、外していただき、再度接続 してください。 本製品の「DHCPv4サーバ機能」が無効になっている可能性があり ます。 有効にしていただく方法は、ヘルプをご覧ください。 *DHCPv4サーバ機能を無効にしたままご利用いただく場合は、ご利 用の端末へ手動でIPアドレスを割り当てる必要があります。割り当て る方法は、「無線ルータ機能をご利用にならない場合」(56ページ) をご覧ください。
ユーザー名とパスワードを要 求される	BBIQ光電話無線ルータ設定画面へログインする場合は、以下を入力し てください。 ユーザー名:「admin」(固定) パスワード:「」(初期状態の場合) **パスワードを忘れた場合は、本製品を初期化することで、再設定をす ることができます。初期化方法は、「初期化する」(74 ページ)を ご覧ください。 **初期化すると、本製品がお届け時の状態に戻り、お客さまが設定され た内容はすべて消去されますのでご注意ください。
機器設定用パスワードを忘れ た	本製品を初期化することで、再設定をすることができます。 初期化方法は、「初期化する」(74 ページ)をご覧ください。 ※初期化すると、本製品がお届け時の状態に戻り、お客さまが設定され た内容はすべて消去されますのでご注意ください。
他の対策を実施しても、改善 が見られない場合	再起動スイッチを押して、本製品を再起動してください。

BBIQ 光電話に関するトラブル

症状	原因と対策		
BBIQ光電話が使えない	本製品の電話機を接続している電話ポートに対応した電話ランプを確認 してください。 電話ランプが緑色に点灯している場合 ・一度電源アダプターを抜き、10秒程度待ってから、再度電源を入れ てください。 電話ランプが赤色に点灯・点滅している場合 BBIQ光電話サーバとの接続に失敗しています。 ・一度電源アダプターを抜き、10秒程度待ってから、再度電源を入れ てください。 電話ランプが消灯している場合 ・BBIQ光電話のご契約が確認できませんでした。 BBIQ光電話のご契約が確認できませんでした。 BBIQ光電話をお申し込みいただいている場合 ・ 配線が間違っていないことを確認してください。 ・一度電源アダプターを抜き、10秒程度待ってから、再度電源を入 れてください。		
電話の呼び出し音がならない	 電話1ポートに対して、複数台の電話機が接続されていないか確認してください。 本製品は電話1ポートに対して1台の電話機でしかご利用いただけません。1ポートに電話機を複数接続されている場合は接続台数を1台にして、再度確認してください。 宅内電話配線が要因の可能性があります。 宅内電話配線をご利用の場合、宅内電話配線の長さや分岐数、品質により、電話のベルがならないことがあります。付属の電話ケーブルを直接接続し、確認してください。 		
電話の呼出音が通常とは異な る/電話に出ても無音で通話 できない	● 発信者番号表示(有料)をお申し込みいただいている場合、電話機の ナンバーディスプレイ機能が有効でない可能性があります。 ご利用の電話機のナンバーディスプレイ機能を有効にしてください。		
FAXが送信/受信できない	 ご利用のFAXを確認してください。 BBIQ光電話では、一般的なアナログ回線用FAX(G3FAX)はご利用いただけます。 ISDN回線用の機器(G4FAX)はご利用いただくことはできません。 電話ケーブルの差し込み口を暗認してください。 電話ケーブルの差し込み口を間違っている可能性があります。 ご利用のFAX機器によっては電話ケーブルの差し込み口が複数存在 する場合があります。差し込み口が正しいかを確認してください。 電話1ポートに対して、複数台の電話機が接続されていないか確認し てください。 本製品は、電話1ポートに対して1台のFAXしかご利用いただけません。1ポートにFAXを複数台接続されたり、電話機と混在して接続された場合は、正常に送受信できない場合があります。 		
受話器から「ピピ・ピピ・」ま たは「ピー」という連続音が 聞こえる	 「ビビ・ビビ・」という連続音が聞こえた場合 ● BBIQ光電話無線ルータ設定画面で「メンテナンス」の「設定値の初期化」からサービス接続の再設定を行ってください。詳細は、ヘルプをご覧ください。 「ビー」という連続音が聞こえた場合 ● ご契約のない電話ポートに電話機が接続されています。配線が間違っていないか確認してください。 		

(ハードウェア仕様

項目		仕様	備考	
WAN インタフェース	物理インタフェース	8ピンモジュラージャック (RJ-45) ×1ポート		
	インタフェース	ブロードバンド接続ポート IEEE802.3 100BASE-TX/1000BASE-T	MDI/MDI-X 自動切替可 能	
	伝送速度	100Mbps/1000Mbps	自動認識/固	
	全二重/半二重	全二重/半二重	定モード	
LAN インタフェース	物理インタフェース	8ピンモジュラージャック (RJ-45) ×4ポート		
	インタフェース	IEEE802.3 100BASE-TX/1000BASE-T	MDI/MDI-X 自動切替可 能	
	伝送速度	100Mbps/1000Mbps	自動認識	
	全二重/半二重	全二重/半二重		
無線LAN	IEEE802.11a			
インタフェース	周波数帯域/チャネル	[W52]5.2GHz帯 (5150-5250MHz): 36/40/44/48ch※ [W53]5.3GHz帯 (5250-5350MHz): 52/56/60/64ch※ [W56]5.6GHz帯 (5470-5725MHz): 100/104/108/112/116/120/124/ 128/132/136/140ch	※屋内限定	
	伝送方式	OFDM(直交周波数分割多重)方式		
	伝送速度	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (自動フォールバック)		
	IEEE802.11b			
	周波数帯域/チャネル	2.4GHz帯(2400-2484MHz)/1~13ch		
	伝送方式	DS-SS(スペクトラム直接拡散)方式		
	伝送速度	11/5.5/2/1Mbps (自動フォールバック)		
	IEEE802.11g			
	周波数帯域/チャネル	2.4GHz帯(2400-2484MHz)/1~13ch		
	伝送方式	OFDM(直交周波数分割多重)方式		
	伝送速度	54/48/36/24/18/12/9/6Mbps (自動フォールバック)		

	項目	仕様	備考
無線LAN インタフェース	IEEE802.11n		
	周波数帯域/チャネル	2.4GHz帯(2400-2484MHz)/1~13ch [W52]5.2GHz帯(5150-5250MHz): 36/40/44/48ch※ [W53]5.3GHz帯(5250-5350MHz): 52/56/60/64ch※ [W56]5.6GHz帯(5470-5725MHz): 100/104/108/112/116/120/124/ 128/132/136/140ch	※屋内限定
	伝送方式	OFDM(直交周波数分割多重)方式/搬送波数 [HT2O] 56、[HT4O] 114、MIMO(空間 多重)方式	
	伝送速度	2.4GHz帯 [HT20]:216.7/195/175.5/173.3/156/ 144.4/130/117/104/78/72.2/65/ 58.5/52/39/26/19.5/13Mbps [HT40]:450/405/364.5/360/324/ 300/270/243/216/162/150/135/ 121.5/108/81/54/40.5/27/13.5Mbps 5.2GHz帯(W52)、5.3GHz帯(W53)、 5.6GHz帯(W56) [HT20]:216.7/195/175.5/173.3/156/ 144.4/130/117/104/78/72.2/65/	
		58.5/52/39/26/19.5/13/6.5Mbps [HT40]:450/405/364.5/360/324/ 300/270/243/216/162/150/135/ 121.5/108/81/54/40.5/27/13.5/ 6.5Mbps (自動フォールバック)	

	項目	仕様	備考
無線LAN	IEEE802.11ac	×	
インタフェース	周波数帯域/チャネル	[W52]5.2GHz帯 (5150-5250MHz): 36/40/44/48ch※ [W53]5.3GHz帯 (5250-5350MHz): 52/56/60/64ch※ [W56]5.6GHz帯 (5470-5725MHz): 100/104/108/112/116/120/124/ 128/132/136/140ch	※屋内限定
	伝送方式	OFDM(直交周波数分割多重)方式/搬送波数 [VHT20] 56、[VHT40] 114、[VHT80] 242、MIMO(空間多重)方式	
	伝送速度	[VHT20]:288.9/260/234/195/175.5/ 156/117/78/58.5/39/19.5Mbps [VHT40]:600/540/486/405/364.5/ 324/243/162/121.5/81/40.5Mbps [VHT80]:1300/1170/1053/877.5/ 702/526.5/351/263.3/175.5/ 87.8Mbps (自動フォールバック)	
	アンテナ	送信3×受信3(内蔵アンテナ)	
	セキュリティ	SSID、WEP(128/64bit)、WPA-PSK (TKIP、AES)、WPA2-PSK(TKIP、AES) 11ac、11n はWPA-PSK(AES)、WPA2- PSK(AES)のみの対応	
電話ポート	物理インタフェース	6ピンモジュラージャック(RJ-11)×2ポー ト	
	選択信号	DTMF PB/DP10pps/DP20pps	
外形寸法		40 (W) ×171 (D) ×188 (H) mm	突起部分お よびスタン ドを除く
動作電源電圧		AC100V±10% 50/60Hz	電源アダプ ター使用
動作温度範囲		0°C~40°C	
動作湿度範囲		10%~ 90%	結露しない こと
消費電力		最大20W	
質量(本体)		約600g以下	スタンドを 含む
質量(電源アダプター)		約230g以下	
電波規制		VCCIクラスB	

BBIQ 光電話無線ルータが対応している無線規格と速度について

無線の規格、周波数帯域、アンテナの数による速度の違いなどをご案内します。

● 無線の規格について

本製品では周波数の帯域や特徴の異なる「IEEE802.11ac」、「IEEE802.11n」、 「IEEE802.11a」、「IEEE802.11g」、「IEEE802.11b」の5つの規格に対応していま す。

まず、ご利用のパソコンや無線 LAN 子機、Wi-Fi 対応機器がどの規格に対応しているかを 確認してください。

無線規格の種類と特徴

無線規格	特徴
llac	最新の規格で、超高速通信が可能だが対応機器が少ない。
lln	高速通信が可能で、対応機器が増えつつある。
11a	11gより電波干渉に強いが、対応機器が少ない。
11g	対応している機器が多いが、電波干渉に弱い。
11b	スピードは遅く、電波干渉にも弱いが、対応機器は多い。

● 周波数帯域について

無線 LAN の規格によって、周波数帯域に「5GHz 帯」「2.4GHz 帯」があり、それぞれ特 徴があります。

2.4GHz 帯は、電子レンジやコードレス電話、Bluetooth、ワイヤレスヘッドフォン、無 線方式のマウスやキーボードなどにも利用されているため、電波同士がぶつかって通信に 影響を与える場合があります。

<u>ご利用の機器が対応していれば、電波干渉に強い 5GHz 帯のご利用をおすすめします。</u>

周波数帯域の種類と特徴

周波数帯	特徴	対応している無線規格
5GHz带	電波干渉に強いが、対応機器が少ない。	llac、lln、lla
2.4GHz带	電波干渉に弱く、通信が切れたり不安定になりやすいが、 対応機器は多い。	lln、llg、llb

● IEEE802.11ac、IEEE802.11nの無線規格で本製品が対応している帯域と 速度について

			通信速度			
規格	周波数	帯域	受信×送信	受信×送信(アンテナの数 MIMO方式)		
			1×1	2×2	3×3	
IEEE802.11ac	5GHz	20MHz	86.7Mbps	173.3Mbps	288.9Mbps	
		40MHz	200Mbps	400Mbps	600Mbps	
		80MHz	433.3Mbps	866.7Mbps	1300Mbps	
IEEE802.11n	5GHz/2.4GHz	20MHz	72.2Mbps	144.4Mbps	216.7Mbps	
		40MHz	150Mbps	300Mbps	450Mbps	

- ●数値は規格上の最大数値であり、ご利用の子機が無線規格と帯域、アンテナ数などを満たしていても、表記速度を保障するものではありません。
- ご利用の子機が対応している帯域とアンテナ数については、ご利用の子機の製造元へお 問い合わせください。
- この取扱説明書では、一般に使用されることが多い用語でわかりやすく説明するため、 「80MHz」を「クワッドチャネル」、「40MHz」を「デュアルチャネル」と表記するこ とがあります。文言は異なりますが、それぞれ同義となります。 なお、BBIQ 光電話無線ルータ設定画面では「80MHz」「40MHz」と表記しています。
- 通信速度より通信安定性を重視する場合は、通信チャネルの幅 80MHz(クワッドチャ ネル)、通信チャネルの幅 40MHz(デュアルチャネル)を使用しない設定にすること で安定する場合があります。
- IEEE802.11ac と IEEE802.11n については、ご利用のパソコンや無線 LAN 子機、 Wi-Fi 対応機器が対応している「無線規格」「帯域」「アンテナ数」によって通信速度が 大きく異なります。ご利用の機器の仕様を確認してください。

● IEEE802.11a、IEEE802.11g、IEEE802.11bの無線規格で本製品が対応している速度について

規格	周波数	通信速度
IEEE802.11a	5GHz	54Mbps
IEEE802.11g	2.4GHz	54Mbps
IEEE802.11b	2.4GHz	11Mbps

●記載の速度はあくまでも規格値であり、無線通信における実際の通信速度は規格値より も低下します。またご利用いただく環境や、利用される無線 LAN 子機、Wi-Fi 対応機 器などによっても通信速度は左右されますので、ご確認の上、ご利用ください。

使用許諾条件

Copyright (c) 1998, 1999, 2000 Thai Open Source Software Center Ltd

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

LICENSE ISSUES

The OpenSSL toolkit stays under a dual license, i.e. both the conditions of the OpenSSL License and the original SSLeay license apply to the toolkit. See below for the actual license texts. Actually both licenses are BSD-style Open Source licenses. In case of any license issues related to OpenSSL please contact openssl-core@openssl.org.

OpenSSL License

_

Copyright (c) 1998-2011 The OpenSSL Project. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

1. Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

2. Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

3. All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgment:
 "This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)"

4. The names "OpenSSL Toolkit" and "OpenSSL Project" must not be used to endorse or promote products derived from this software without prior written permission. For written permission, please contact openssl-core@openssl.org.

5. Products derived from this software may not be called "OpenSSL" nor may "OpenSSL" appear in their names without prior written permission of the OpenSSL Project.

6. Redistributions of any form whatsoever must retain the following acknowledgment:

"This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (http://www.openssl.org/)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE OpenSSL PROJECT ``AS IS" AND ANY EXPRESSED OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE OPENSL PROJECT OR ITS CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Original SSLeay License

Copyright (C) 1995-1998 Eric Young (eay@cryptsoft.com) All rights reserved.

This package is an SSL implementation written by Eric Young (eay@cryptsoft.com). The implementation was written so as to conform with Netscapes SSL.

This library is free for commercial and non-commercial use as long as the following conditions are aheared to. The following conditions apply to all code found in this distribution, be it the RC4, RSA, lhash, DES, etc., code; not just the SSL code. The SSL documentation included with this distribution is covered by the same copyright terms except that the holder is Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com).

Copyright remains Eric Young's, and as such any Copyright notices in the code are not to be removed.

If this package is used in a product, Eric Young should be given attribution as the author of the parts of the library used.

This can be in the form of a textual message at program startup or in documentation (online or textual) provided with the package.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

 Redistributions of source code must retain the copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
 Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.
 All advertising materials mentioning features or use of this software must display the following acknowledgement: "This product includes cryptographic software written by Eric Young (eay@cryptsoft.com)" The word 'cryptographic' can be left out if the rouines from the library being used are not cryptographic related :-).
 If you include any Windows specific code (or a derivative thereof) from

the apps directory (application code) you must include an acknowledgement: "This product includes software written by Tim Hudson (tjh@cryptsoft.com)"

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY ERIC YOUNG "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

The licence and distribution terms for any publically available version or derivative of this code cannot be changed. i.e. this code cannot simply be copied and put under another distribution licence [including the GNU Public Licence.]

Ethernet(R) は米国 XEROX 社の登録商標です。

Linux(R) は、Linus Torvalds 氏の米国及びその他の国における登録商標です。

```
---
```

本製品は、GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2(以下「ソフトウェア使用許諾契約書」)に基づき、フリーソフトウェアとして使用許諾されるソフトウェアモジュールを使用しています。

対象となるソフトウェアモジュールの提供を希望する場合は、下記メールアドレスまでお問い合わせください。な お、媒体提供の際に別途実費を申し受ける場合があります。

メールアドレス (hgw_gpl_mit@nb.MitsubishiElectric.co.jp) ソフトウェアモジュールの使用条件等の詳細に つきましては、各ソフトウェアの使用許諾契約書をお読みください。尚、第三者による規定であるため、原文(英 文)を掲載いたします。

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public License is intended to guarantee your freedom to share and change free software-to make sure the software is free for all its users. This General Public License applies to most of the Free Software Foundation's software and to any other program whose authors commit to using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public License instead.) You can apply it to your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you can change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights. These restrictions translate to certain responsibilities for you if you distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have. You must make sure that they, too, receive or can get the source code. And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

O. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below,

refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable
 source code, which must be distributed under the terms of Sections
 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,

c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under

this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding

those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively

convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.> Copyright (C) <year> <name of author>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'. This is free software, and you are welcome to redistribute it under certain conditions; type `show c' for details.

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate pas of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program 'Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.

<signature of Ty Coon>, 1 April 1989 Ty Coon, President of Vice

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License.

-

索引

数字

2.4G	.22
5G	.22

В

BBIQ 光電話アダプタ機能	З	6
BBIQ 光電話が使えない1	1	4
BBIQ 光電話無線ルータ設定画面…32,1	1	З

F

FAX	1	1	4

I

IPアドレスを固定......56,62,64

L

LAN1 ~ 4(LINK/ACT) ランプ	24
LAN1~4(SPEED) ランプ	24
LINK/ACT ランプ2	4, 110

Μ

S

SPEED ランプ					24
SSID	1	1	1,	1	12

W

WAN(LINK/ACT) ランプ	24
WAN(SPEED) ランプ	24
Wi-Fi	
Windows 7	42, 62, 88, 98
Windows 8	37, 56, 84, 92
Windows 8.1	37, 56, 84, 92
WPS	
WPS ボタン	24

あ

アラームランプ21,	1	0	8
暗号化キー	1	1	1

い

インターネット		8	З
インターネットに接続できない	1	1	1

お

ᇁ		21

か

壁掛け2	26
------	----

き

機器設定用パスワード	113
機器設定用パスワードを変更する	69
機能一覧	19

け

Z

故障かな?と思ったら......108

さ

再起動する	.72
再起動ボタン	.23

し

周波数带域	. 118
初期化する	74
初期化ボタン2	3, 77

せ

セキュリティ	14
接続	28
設置	25
設定画面を開く	33
設定を復元する	80
設定を保存する	78
セットを確認する	20

そ

速度	. 1	12.	1	8

た

ダイヤルアップ画面	1	1	1
縦置き		2	5

ち

着信3	0

0

通話できない1	14
つなぐだけネットスタート	18

τ

電源コネクタ	24
電源ランプ	.21, 108
電波状態が悪い	
電話 1 ランプ	22
電話 2 ランプ	23
電話ポート	24
電話を受ける	
電話をかける	

ね

ネットワーク名.....111,112

は

ハードウェア仕様	
パスワード	
パソコンを設定する	
発信	

ひ

光電話			30
光ネットランプ	21,	108,	109
必要なご契約			19

ß

復元	
ブラウザ	
ブラウザの設定	

ほ

保存78	8
------	---

む

無線 2.4G ランプ	
無線 5G ランプ	
無線規格	118
無線接続	
無線接続できない	111,112
無線ネットワーク名 (SSID)	の隠蔽(ANY
接続拒否)	92
無線ルータ機能	19, 36, 37

Ø

ユーザー名11	З
有線接続8	33

呼び出し音	1	1	Ζ	1

5

ランプ表示	.21,	24
	· — · ,	

BBIQ光電話無線ルータ XS-5A-01 取扱説明書

発行日	2019年5月
発行責任	三菱電機株式会社

- ・本書の一部または全部を無断で他に転載しないよう、お願いいたします。
- ・本書は、改善のために予告なしに変更することがあります。
- ・本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、弊社はその責を負いません。
- ・落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。